商品の修理サービスは お買い上げの販売店がいたします。
修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

新商品などの商品選び、本機に関する取扱方法、故障と思われる場合のご相談や、販売店に修理のご相談ができない場合

『**東芝 DVD インフォメーションセンター**』 [受付時間] **365日／9:00〜20:00**

（一般回線からのご利用は） フリーダイヤル **0120-96-3755**　（携帯電話からのご利用は） ナビダイヤル **0570-00-3755**（通話料：有料）
（フリーダイヤルは携帯電話・PHS など一部の電話ではご利用になれません）　（PHS・一部の IP 電話などでは、ご利用になれない場合があります）

[IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は] **03-6830-1855**（通話料：有料）

[FAXからのご利用は] **03-3258-0470**（通信料：有料）

- 「東芝DVDインフォメーションセンター」は株式会社東芝デジタルプロダクツ＆サービス社が運営しております。
- お客様からご提供いただいた個人情報は、ご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 東芝グループ会社または協力会社が対応させていただくことが適切と判断される場合に、お客様の個人情報を提供することがあります。

愛情点検

★長年ご使用のポータブルDVDプレーヤーの点検を!

このような症状はありませんか	● 再生しても音や映像が出ない ● 煙が出たり異常なにおいや音がする ● 水や異物がはいった	● ディスクが傷ついたり取り出しができない ● ACアダプターが異常に熱くなる ● その他の異常や故障がある	▶	お願い	故障や事故防止のため、ACアダプターをコンセントから抜き、必ず販売店にご連絡ください。 点検・修理に要する費用などは販売店にご相談ください。

株式会社 **東芝**
デジタルプロダクツ＆サービス社
〒105−8001　東京都港区芝浦1−1−1
＊所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

ⓉPX1D00007357

TOSHIBA
Leading Innovation >>>

REGZA

東芝ポータブルDVDプレーヤー

形名 **SD-P96DT**

取扱説明書

DOLBY DIGITAL

DIVX

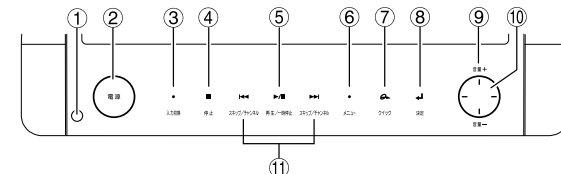
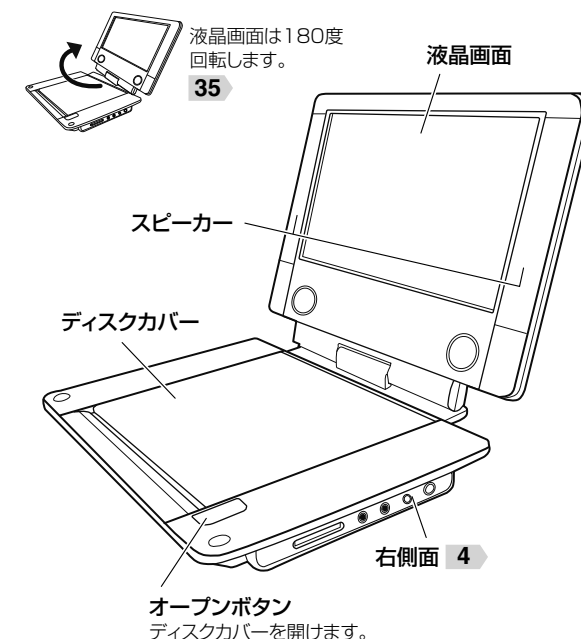
Li-ion

- このたびは東芝ポータブルDVDプレーヤーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- お求めのポータブルDVDプレーヤーを正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- 最初に安全上のご注意をお読みください。
- お読みになったあとはいつも手元において ご使用ください。
- 保証書を必ずお受け取りになり、内容をご確認のうえ、たいせつに保管してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、本体の製造番号と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。

本書の見かた・使いかた

このページを開いて使用すると便利です。

操作方法は、特にことわりのないかぎり、リモコンでの操作を中心に説明しています。本体のボタンは、リモコンのボタンとマークや説明が同じであれば使いかたも同じです。

全体図　くわしくは、[ ] 内ページをご覧ください。

「電源」以外のボタンには、タッチパネル方式を採用しています。（ 22 ページをご覧ください。）

① **リモコン受光部** 30
リモコンはここへ向けて操作します。

② **電源ボタン** 37
本体の電源を入り切りします。

③ **入力切換ボタン** 38
モードを切り換えます。

④ **停止ボタン** 59
再生を止めます。

⑤ **再生ボタン** 59
再生を開始します。

⑤ **一時停止ボタン** 60 62
再生を一時停止およびコマ送りします。

⑥ **メニューボタン** 53
メニューを表示します。

⑦ **クイックボタン** 39
クイックメニューを表示します。

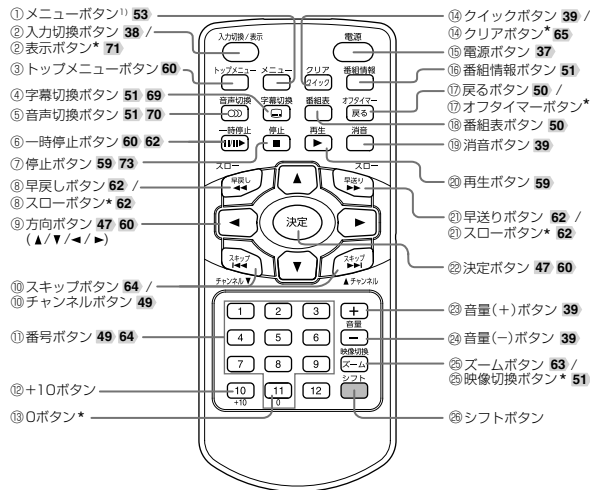
⑧ **決定ボタン** 47 60
選んだ内容を決定します。

⑨ **音量ボタン(+/−)** 39 60
音量を調節します。

⑩ **方向ボタン(▲/▼/◀/▶)** 47 60
項目や入力位置を選びます。

⑪ **スキップボタン** 62 64
タイトルやチャプター、トラックを頭出しします。

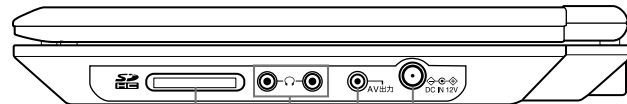
⑪ **チャンネルボタン** 49
テレビのチャンネルを切り換えます。

リモコン　くわしくは、▶ 内ページをご覧ください。

* ▭ :「シフト」を押しながらそのボタンを押すと働きます。

おもな機能

①	**メニュー**	メニューなどの表示
②	**入力切換**	モードの切換え
②	**表示**	操作状況や情報の表示
③	**トップメニュー**	DVD ビデオディスクのトップメニューの表示
④	**字幕切換**	字幕の表示と選択
⑤	**音声切換**	音声の選択
⑥	**一時停止**	再生の一時停止
⑦	**停止**	再生の停止
⑧	**早戻し**	再生の早戻し
⑧	**スロー**	スローモーション再生
⑨	**方向ボタン**	項目や入力位置の選択
⑩	**スキップ**	タイトル、チャプター、トラックの頭出し
⑩	**チャンネル**	テレビのチャンネル切換え
⑪	**番号ボタン**	数字の入力/テレビのチャンネル切換え
⑫	**+10**	10の位の数字の入力
⑬	**0**	数字0の入力
⑭	**クイック**	モードや操作状況によって使える機能を表示
⑭	**クリア**	入力値の取り消し
⑮	**電源**	本体電源の入り切り
⑯	**番組情報**	視聴中の番組の情報を表示
⑰	**オフタイマー**	電源切りまでの時間の設定
⑰	**戻る**	前画面の再表示
⑱	**番組表**	番組表の表示と切換え
⑲	**消音**	一時的な消音
⑳	**再生**	再生の開始
㉑	**早送り**	再生の早送り
㉑	**スロー**	スローモーション再生
㉒	**決定**	選んだ内容の決定
㉓	**音量(+)**	音量を上げる
㉔	**音量(−)**	音量を下げる
㉕	**映像切換**	主・副映像の切換え
㉕	**ズーム**	画像表示の大きさの切換え
㉖	**シフト**	ボタンの機能の切換え

1)メニューボタン
[**TV**]モードでは、機能のメニューを表示します。(53 ページ)
[**DVD/CD**]モードでは、DVDビデオディスクに記録されているメニュー画面などを表示します。メニュー画面での操作は、「トップメニューを使う」(60 ページ)と同様の手順で行います。ディスクによっては、メニュー画面が記録されていないものもあります。

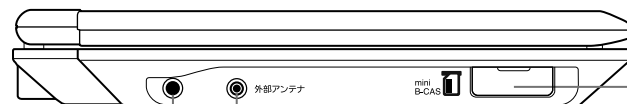
右側面

カードスロット 73
SDカードを挿入します。

ヘッドホーン端子(×2) 36
ヘッドホーンを接続します。

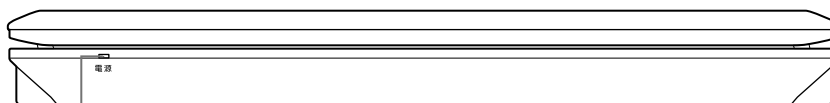
電源入力端子 31
付属のACアダプターを接続します。

AV出力端子 86
本機で再生する映像や音声をテレビやステレオで楽しみたいときに、テレビやステレオの映像・音声入力端子と接続します。
([**TV**]モード時の映像や音声は出力されません。)

左側面

miniB-CASカードスロット 44
付属のminiB-CASカードを挿入します。

ワンセグ用内蔵アンテナ 45
ワンセグ放送の視聴時に伸ばして使います。

外部アンテナ端子 45
付属の地デジ用アンテナケーブルまたはワンセグ用外部アンテナを接続します。

前面

電源表示 37
電源の状態(入/待機状態/充電中)を表示します。

お願い　本機は、液晶画面を閉じたときのロックのため磁石を内蔵しています。
トラブル防止のため、磁気を帯びた製品(例:時計、磁気カード)は本機に近づけないでください。

商品の保証とアフターサービス

保証書(別添)

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、たいせつに保管してください。

補修用性能部品について

- 当社は、ポータブルDVDプレーヤー(SD-P96DT)の補修用性能部品を、製造打ち切り後、6年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理のために取りはずした部品は、当社で引き取らせていただきます。
修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

保証期間	お買い上げ日から1年間です。ただし、業務用にご使用の場合、あるいは特殊使用の場合は、保証期間内でも「有料修理」とさせていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

修理を依頼されるときは〜持ち込み修理

商品の修理サービスは お買い上げの販売店がいたします。
修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。
「故障かな…?と思ったときは」のページをご覧になって調べていただき、なお異常のあるときは、使用を中止し、必ずACアダプターを抜いてから、お買い上げの販売店に商品と保証書をご持参のうえ修理をご依頼ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

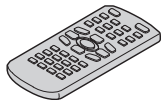
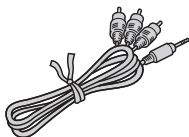
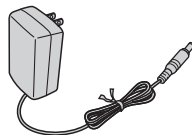
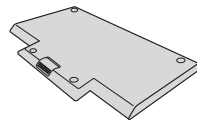
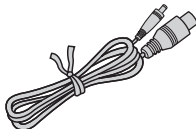
ご連絡していただきたい内容			
品　　名	ポータブルDVDプレーヤー		
形　　名	SD-P96DT	お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に		
ご 住 所	付近の目印なども合わせてお知らせください		
お 名 前		電 話 番 号	
お買い上げ店名	お客さまへ…おぼえのため、お買い上げ店名を記入すると便利です。☎(　　)　―		

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
+	
部品代	修理に使用した部品の代金です。

付属品

本機には以下の付属品があります。お確かめください。

* ACアダプター、リチウムイオンバッテリーパック、カーアダプターは、付属のもの以外は使用しないでください。また、これらの付属品を本機以外に使用しないでください。使用すると大変危険です。

もくじ

はじめに　お使いになる前に必ずお読みください。

準備

テレビを見る

ディスクの再生

機能設定

接続

その他

安全上のご注意

製品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■ 表示の説明

表示	表示の意味
⚠ 危険	“取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷（*1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
⚠ 警告	“取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠ 注意	“取扱いを誤った場合、人が軽傷（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■ 図記号の例

図記号	図記号の意味
⃠ 禁止	“⃠”は、**禁止**（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
● 指示	“●”は、**指示**する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
△ 注意	“△”は、**注意**を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

異常や故障のとき

■ 異常に熱くなったり、異臭がしたり、煙が出たりした場合は、すぐにACアダプターをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。安全を確認してからお買い上げの販売店にご連絡ください。

■ 内部に水や異物がはいったら、すぐにACアダプターをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

■ 落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐにACアダプターをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

■ ACアダプターが発熱したり、コードが傷んだりしたときは、すぐに電源を切り、ACアダプターが冷えたのを確認してコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

使用するとき

警告

■ 修理・改造・分解はしない

火災・感電の原因となります。
点検・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

■ 内部に異物を入れない

ステープル、クリップなどの金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 雷が鳴りだしたら、本機やACアダプターに触れない

感電の原因となります。

■ 水にぬらしたりしない

火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

■ 航空機内で使用するときは、航空会社の指示に従う

航空法で、離着陸時に本機を使用することは禁止されています。指示に従わず使用すると、運行装置に影響を与え、事故につながるおそれがあります。

■ ピックアップレンズに目を近づけたり、レーザー光を見ない

本機は通常、レーザー光を見られないようになっています。万が一故障や異常によって、レーザー光が発光された場合に見つめたりすると、視力障害の原因となります。

■ 歩行中や、乗り物を運転しながら使用しない

交通事故の原因となります。

■ 車の中などで使用するとき、窓から付属のアンテナを出さない

他の人にけがを負わせる原因となります。

⚠注意

■ ディスクカバーを閉めるとき、手を入れない

手をはさみ、けがの原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない

ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となります。

■ ヘッドホーンをご使用になるときは、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ 回転中のディスクには触れない

ディスクカバーを開いたとき、ディスクの回転が完全に停止していないことがあります。回転しているディスクに触れると、けがや故障の原因となります。

■ 電源を入れる前には音量を最小にする

電源を入れる前には、接続しているアンプなどの音量を最小にしておいてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

■ 液晶表示画面が破損し、液体がもれてしまった場合は、液体を吸い込んだり、飲んだりしない

中毒を起こすおそれがあります。万一口や目にはいってしまった場合は、水で洗い流し、医師の診察を受けてください。手や服についてしまった場合は、アルコールなどでふき取り、水洗いしてください。

■ 本機で使用するSDカードやSDカードアダプター、miniB-CASカードは、幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと窒息やけがのおそれがあります。万一飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

設置するとき

⚠ 警告

■ 屋外や風呂、シャワー室など、水のかかるおそれのある場所には置かない

火災・感電の原因となります。

■ 上にものを置かない

- 金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体が内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
- 重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

■ ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かない

禁　止

本機が落ちて、けがの原因となります。

■ ひざの上などで使用しない

禁　止

本機は多少温度が上がります。ひざの上などでのご使用は低温やけどの原因となります。低温やけどは、体温より高い温度のものを長時間あてていると紅斑、水疱等の症状をおこすやけどのことです。なお、自覚症状をともなわないで低温やけどになる場合もありますので、特に肌の弱い方はご注意ください。

⚠ 注意

■ 温度の高い場所に置かない

禁　止

直射日光の当たる場所・閉め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となることがあります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。

■ 湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かない

禁　止

加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

■ 風通しの悪い場所に置かない

禁　止

内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります

●じゅうたんや布団の上に置かないでください。
●テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
●押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。
●壁に押しつけないでください。

■ 移動させる場合は、ACアダプター・カーアダプター・外部との接続コードをはずす

指　示

ACアダプターやカーアダプターを抜かずに運ぶと、コードが傷つき火災・感電の原因となることや、接続コードなどをはずさずに運ぶと、本機が落下し、けがの原因となることがあります。

ACアダプターについて

警告

■ **ACアダプターは家庭用交流100Vのコンセントに接続する**

交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。

■ **ACアダプターを分解・改造・修理しない**

火災・感電の原因となります。

■ **ACアダプターのコードは**

- **傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしない**
- **引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしない**
- **無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない**

火災・感電の原因となります。

■ **時々ACアダプターを抜いて点検し、プラグやプラグの取り付け面にゴミやほこりが付着している場合はきれいに掃除する**

プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。
（ACアダプターは待機状態のときに抜いてください。）

■ **通電中のACアダプターにふとんをかけたり、暖房器具の近くやホットカーペットの上に置かない**

火災、故障の原因となることがあります。

■ **コンセントからACアダプターが抜きやすいように設置する**

万一の異常や故障のとき、または長期間使用しないときなどに役立ちます。

注意

■ **ぬれた手でACアダプターを抜き差ししない**

感電の原因となることがあります。

■ ACアダプターをコンセントから抜くときは、コードを引っ張って抜かない

コードを引っ張って抜くと、コードやプラグが傷つき、火災・感電の原因となります。ACアダプターを持って抜いてください。

■ ACアダプターは、付属のものを使用する

指定以外のACアダプターを使用すると、火災・故障の原因となります。付属のACアダプターは国内専用です。

■ 旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のためACアダプターをコンセントから抜く

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

■ 付属のACアダプターを本機以外の他の用途に使用しない

本機以外の他の用途に使用すると、火災・故障の原因となります。

■ ACアダプターはコンセントの奥まで確実に差し込む

確実に差し込んでいないと、火災・感電の原因となります。

バッテリーパックについて

⚠危険

■ 充電中や使用中にバッテリーパックが異常に熱くなったり、異臭がしたり、煙が出たりした場合は、すぐにACアダプターをコンセントから抜く

そのまま使用すると破裂・火災の原因となります。
常温に戻ったことを確認し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■ 指定されたバッテリーパックを使用する

指定以外のバッテリーパックを使用すると、火災・故障の原因となります。

■ **バッテリーパックにクギを刺したり、カナヅチでたたいたり、踏みつけたりしない**

禁 止

電極がショートすると発熱、破裂、発火の原因となります。

■ **バッテリーパックを加熱・分解・ショートしたり、火の中へ投入したりしない**

禁 止

破裂・火災の原因となります。

■ **バッテリーパックの電極（＋端子と－端子）を針金などの金属で接続しないこと。また、金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに持ち運んだり、保管しない**

禁 止

電極がショートすると、発熱、破裂、発火の原因となります。
バッテリーパックを持ち運ぶときや保管するときは、電極が金属に触れないように、ビニールなどで包んでください。

■ **不要になったバッテリーパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで電池リサイクル協力店へお持ちください。**
お持ち込みになるときは、＋端子、－端子の電極に絶縁テープを貼る

指 示

電極がショートすると、破裂、発火のおそれがあります。

■ **バッテリーパックを指定された充電方法以外で充電しない**

指 示

破裂、発火の原因となります。

注意

■ **バッテリーパックが本体にしっかりと取り付けられているか確認する**

指 示

正しく取り付けられていないと、持ち運びのときにバッテリーパックがはずれ落ちて、けがの原因となります。

コイン型電池について

警告

■ コイン型電池は、幼児の手の届く場所に置かない

コイン型電池をお子様が飲み込んだりすると、中毒の原因となります。もし、飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

注意

■ リモコンに使用しているコイン型電池は

- **指定以外の電池は使用しない**
- **極性表示 [(＋) と (－)] を間違えて挿入しない**
- **充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中へ入れない**
- **表示されている [使用推奨期限] を過ぎたり、使い切った電池はリモコンに入れておかない**

これらを守らないと、液もれ・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目にはいったときはすぐにきれいな水で洗い医師の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

■ コイン型電池を廃棄する場合は、(＋) と (－) にそれぞれビニールテープなどをはる

そのまま廃棄すると、金属類でのショートによって、液もれ・発熱・破裂し、やけど・けがの原因となることがあります。廃棄する場合は、地域や地方自治体などの規則に従って、定められた場所に出してください。

■ 開封したコイン型電池を保管・携帯するときは、ポリ袋などに入れる

そのまま保管・携帯すると、金属類でショートして、液もれ・発熱・破裂し、やけど・けがの原因となることがあります。

カーアダプターについて

■ 走行中は、使用しない

禁　止

交通事故の原因となります。

■ エアバッグの動作を妨げる場所に置かない

禁　止

エアバッグシステムが正常に作動せず、事故の原因となります。

■ 運転者の視界を妨げる場所に置かない

禁　止

交通事故、けがの原因となります。

■ 運転操作の妨げになる場所や、運転装置に触れる場所に置かない

禁　止

交通事故の原因となります。

■ 分解・改造はしない

禁　止

火災、感電の原因となります。
シガーライターソケットやその周辺も改造して使用しないでください。

■ コード類がシートのレールやドア、窓などの可動部分にはさまれないようにする

指　示

コードが傷つくと、火災、感電の原因となります。

■ 24V車や12Vプラスアース車では絶対に使用しない

禁　止

カーアダプターはDC12Vマイナスアース車専用です。これを守らないと、火災の原因となります。カーアダプターを使用するときは、必ず車の取扱説明書をよくお読みください。

⚠注意

■ カーアダプターは指定のポータブルDVDプレーヤー以外に使用しない

発煙、火災、感電の原因となります。

■ 本体にバッテリーパックを取り付けて、カーアダプターを使用しない

発煙、火災、感電の原因となります。
また、車のバッテリー等への影響が発生します。

■ ぬれた手でカーアダプターをシガーライターソケットに抜き差ししない
また、液体をこぼしたりしない

感電の原因となります。

■ 通電中のカーアダプターに長時間触れない

カーアダプターの温度が上がるため、長時間皮膚に触れていると、低温やけどなどの原因となります。使用後のシガーライターソケットは熱くなっていますので、注意してください。

■ カーアダプターを使用するときは、カーアダプターのシガーライター用プラグはシガーライターソケットに、カーアダプターのプラグは本体の電源入力端子にしっかりと差し込む

これを守らないと発煙、火災の原因となります。

キャリングケースについて

⚠危険

■ 走行中は、取りはずす

急停車などのときにぶつかって、けがの原因となります。

■ エアバッグの動作を妨げる場所に置かない

禁 止

エアバッグシステムが正常に作動せず、事故の原因となります。

■ 運転者の視界を妨げる場所に置かない

禁 止

交通事故、けがの原因となります。

■ 運転操作の妨げになる場所や、運転装置に触れる場所に置かない

禁 止

交通事故の原因となります。

⚠警告

■ キャリングケースのベルトを首などにかけない

禁 止

窒息、けがの原因となります。

■ キャリングケースをかぶらない

禁 止

窒息、けがの原因となります。
特にお子様がいるときはご注意ください。

⚠注意

■ キャリングケースのベルトを持ってふりまわさない

禁 止

けがや破損の原因となります。

■ キャリングケースを車に装着して使用するときは、キャリングケースのベルトをしっかり固定させる

指 示

けがや破損の原因となります。

■ キャリングケースにプレーヤーを入れて持ち運ぶときは、チャックをしっかりとしめる

指 示

本体が落ちて、けがや破損の原因となります。

使用上のお願い

取扱いに関すること

- 液晶画面を傷つけたり衝撃を与えないでください。液晶が破損し、故障の原因になります。
- ディスクカバーの中にあるピックアップレンズには、触れたり、清掃をしたりしないでください。市販されているクリーニングキットも使用しないでください。機能に支障をきたす場合があります。
- 移動させるとき
  引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、振動が伝わらないように、傷がつかないように毛布などでくるんでください。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
- 長時間ご使用になっていると本体が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- ふだん使用しないとき
  必ず、ディスクを取り出し、電源を切っておいてください。
- 長期間使用しないとき
  機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて、使用してください。

置き場所に関すること

- 本機は水平な場所に設置してください。ぐらぐらする机や傾いている所、走行中の車内など不安定な場所で使わないでください。ディスクがはずれるなどして、故障の原因となります。
- 直射日光のあたる場所、熱器具の近く、締め切った車内など、温度が高くなる場所に置かないでください。故障の原因となります。
- 本機をテレビやラジオ、ビデオの近くに置く場合には、本機で再生中の映像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオから離してください。

自動車内での使用について

- 運転中は、操作したり、見たりしないでください。事故の原因になります。
- 移動中の車内などで本機を使用しないでください。振動などで、本来の動作ができなくなったり、ディスクが傷つくおそれがあります。
- 車内に放置しないでください。暑さや寒さで故障の原因となります。

結露（露付き）について

結露はディスクや本機を傷めます。よくお読みください。

たとえば、よく冷えたビールをコップにつぐと、コップの表面に水滴がつきます。これを"結露（露付き）"といいます。この現象と同じように、本機の内部のピックアップレンズや部品、部品内部などに水滴がつくことがあります。

■ "結露"はこんなときおきます。

- 本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
- 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところに置いたとき
- 夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動したとき
- 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋に置いたとき

■ 結露がおきそうなときは、本機をすぐに使用しない

結露がおきた状態で本機をお使いになりますと、ディスクや部品を傷めることがあります。ディスクを取り出し、本機のACアダプターをご家庭のコンセントに接続し電源を入れておくと、本機があたたまり水滴がとれますので、しばらく放置してからご使用ください。

お手入れに関すること

- 本体や操作パネル部分のよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
  ベンジン、シンナーは絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはげたりする原因となります。
- 液晶画面についたよごれなどは、乾いた柔らかい布で拭きとってください。

レーザー製品の取扱いについて

- 本機は、レーザーシステムを使用しています。本製品を正しくお使いいただくため、この取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただいたあとも必ず保管してください。修理などが必要な場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
- 本取扱説明書に記載された以外の調整・改造を行うと、レーザー被爆の原因になりますので絶対におやめください。
- 本機は、映像信号の読み取りのためにレーザーを使っています。弱いレーザー光のため、人体に大きな影響はありませんが、安全のため、絶対に製品を分解しないでください。

タッチパネルについて

本体の操作部には、タッチ式のパネルが採用されています。ボタンのマーク付近を指で軽く触れて操作してください。

指を強く押し付けたり、複数の指で押したりすると、正常に認識されません。一度指を離し、再度軽く触れてください。

ご注意

- タッチパネル面に重いものを乗せないでください。タッチパネルの故障の原因となります。

お知らせ

- 次の場合、タッチパネルに触れても動作しないことがありますのでご注意ください。
  — 手袋をしたままでの操作
  — 爪先での操作
  — 異物を操作面に載せたままでの操作
  — 保護シートやシールなどを貼っての操作
- タッチパネルを先が尖ったもの（爪/ボールペン/ピンなど）でこすったり押したりしないでください。
- 画面のよごれは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。手で強く押したり、硬い布などでこすると表面に傷がつくことがあります。

免責事項について

- 地震や雷などの自然災害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

廃棄について

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。

操作説明と実際の動作

この取扱説明書は、本機の基本的な操作のしかたを説明しています。

DVDビデオディスク、ビデオCDは、ディスク制作者側の意図で再生状態が決められていることがあります。本機はディスク制作者が意図した内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりには動作しないことがあります。再生するディスクに付属の説明書もご覧ください。

ボタン操作中に画面に[⃠]が表示されることがあります。[⃠]が表示されたときは、本機またはディスクがその操作を禁止しています。

リージョン番号について

本機のリージョン番号は2に設定されています。DVDビデオディスクに再生限定地域を表すリージョン番号が表示されている場合には、そのリージョン番号マークの中に2のように2が含まれているか、またはALLが表示されていないと、本機では再生できません。(リージョン番号が不適応の場合には画面に表示がでます。)

再生できるメディアと取扱い

本機では、ディスクとメモリーカードが使用できます。規格と使用方法をお確かめの上、正しくお使いください。

再生できるディスク

ディスク	DVDビデオ	DVD-RW	DVD-R	ビデオCD	音楽用CD	CD-ROM	CD-R/RW*
ロゴ	DVD VIDEO	DVD RW	DVD R R4.7	COMPACT disc DIGITAL VIDEO / VIDEO CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	COMPACT disc	COMPACT disc Recordable / COMPACT disc ReWritable
大きさ	12cm 8cm	12cm		12cm 8cm	12cm 8cm（CDシングル）	12cm	
内容	・映像（動画）＋音声 2 ALL 本機のリージョン番号は2です。「2」や「2」を含むリージョンマーク、または「ALL」が表示されたディスクが再生できます。	・映像（動画）＋音声 Videoモード/VRモード CPRM対応 ・音声（MP3/WMAファイル） ・動画（DivXファイル） ・静止画（JPEGファイル）		・映像（動画）＋音声	・音声	・音声（MP3/WMAファイル） ・動画（DivXファイル） ・静止画（JPEGファイル） *VIDEO CD（ビデオCD）フォーマットにも対応。ただしディスクによっては再生できないものもあります。	

お知らせ

- 上記の表以外のディスクは再生できません。上記のディスクでも、規格外のディスクなどは再生できません。
- ファイナライズ（記録する側で記録終了情報を記録）を行っていないディスクは再生できません。ファイナライズについては、記録する機器の取扱説明書をご覧ください。
- 使用するディスク、記録状態、記録方法やファイルの作成方法などにより再生できない場合があります。
- 本機はNTSCテレビ方式に適合したプレーヤーです。他のテレビ方式（PAL、SECAM）表示のディスクには使用できません。

はDVDフォーマット ロゴ ライセンシング株式会社の商標です。

■ ビデオCDについて

本機は、PBC付きビデオCD（バージョン2.0）に対応しています。（PBCとはPlayback Control（プレイバック コントロール）の略です。）
ディスクによって、2種類の再生を楽しめます。

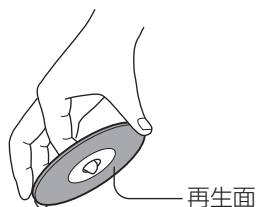
PBCなしビデオCD（バージョン1.1）

音楽用CDと同じように操作して、音声と映像（動画）を再生できます。

PBC付きビデオCD（バージョン2.0）

PBCなしのビデオCDの楽しみかたに加えて、画面に表示されるメニューを使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生できます（メニュー再生）。この取扱説明書で説明されている機能が働かない場合があります。

ディスクの取り扱いかた

- 再生面には手を触れないでください。
  たとえば、図のように持ってください。

- ディスクに紙やシールを貼らないでください。
- ディスクを折り曲げたり、表面を傷つけないでください。

ディスクのお手入れのしかた

- ディスクについた指紋やほこりなどのよごれは、映像の乱れや音質低下の原因となります。柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。
- シンナーやベンジン、アナログ式レコード専用のクリーナー、静電気防止剤などは絶対使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。

ディスクの保管のしかた

- 直射日光の当たる場所や、湿度の高い場所には保管しないでください。
- 浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
- ディスクは必ず専用ケースに入れて保管してください。専用ケースに入れずに重ねたり、立てかけたりすると変形する原因となります。

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律で禁止されています。

これに従い本機では、著作権保護技術を適用しています。

ビデオデッキなどを接続してディスクの内容を複製しても、コピー防止機能の働きによって、複製した画像は乱れます。

本機は、Rovi Corporationならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はRovi Corporationの認可が必要であり、Rovi Corporationの認可なしでは、一般家庭用または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。

再生できるメモリーカード

カード	マーク（ロゴ）	内容
SDメモリーカード		・音楽（MP3、WMA） ・静止画（JPEG） ・動画（DivX）
SDHCメモリーカード		

SDロゴ、SDHCロゴは商標です。

本書では「SDメモリーカード」「SDHCメモリーカード」を「SDカード」と記載しています。

- miniSDカード、microSDカード／microSDHCカードは、必ず専用のSDカードアダプターに装着してから本機に差し込んでください。（28ページ）
- 対応していない種類のメモリーカードを本機に挿入しないでください。未対応のメモリーカードを挿入した場合、本機およびメモリーカードが故障・破損するおそれがあります。
- SD-Video規格には対応していません。他の機器（当社製を含む）で録画したSD-Videoのコンテンツは、本機では再生できません。
- FAT16またはFAT32以外でフォーマットされたSDカードは使用できません。
- SDカードのフォーマット形式や使用状態などによっては、上記のカードでも本機で使用できない場合があります。カードの読み込みが正常に動作しない場合は、本機からSDカードを取り出してください。

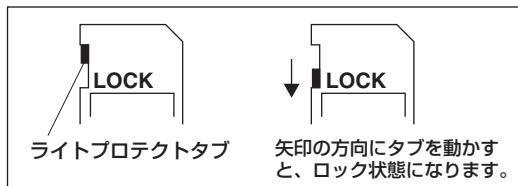
■ 免責事項

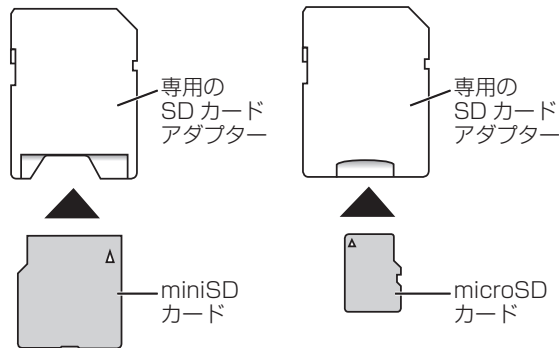
- たいせつなデータはバックアップをとっておくことをお勧めします。本機でSDカードを使用することによって、万一何らかの不具合が発生した場合でも、データの損失や記録できなかったデータの補償、およびこれらに関わるその他の直接・間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 誤った使い方をするとデータが破損(消滅)することがあります。記録されたデータの破損(消滅)については、故障や損害の内容・原因に関わらず当社は一切その責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 取扱い上のご注意

- SDカードを本機に差し込むときは、上下(表裏)の向きに注意して、最後までしっかりと差し込んでください。
- SDカードの読出し中、再生中は、電源を切ったり、SDカードを取り出したりしないでください。記録されているデータが破壊されるおそれがあります。
- SDカードは精密部品です。折り曲げたり、落としたりなどの無理な力や強い衝撃を与えないでください。
- 強い磁場や静電気が発生するところでの使用や保管はしないでください。
- 高温多湿なところやほこり、油煙の多い場所での使用や保管はしないでください。
- SDカードの金属部(金色の部分)にゴミや水、異物などがつかないように、また手で触れないように注意してください。よごれは乾いたやわらかい布でふいてください。
- SDカードを持ち歩いたり、保管をするときには、静電気防止ケースに入れてください。
- 直射日光があたるところや、ストーブやヒーターなど熱源のそばに放置すると、故障の原因になることがあります。
- ズボンやスカートのうしろポケットに入れたまま、座席やいすなどに座らないでください。破損、故障の原因となります。
- 本機から取り出したSDカードが熱くなっていることがありますが、故障ではありません。
- 長期間SDカードを使用しなかった場合、記録されているデータが読み出せなくなる場合があります。
- SDカードには寿命があります。長時間使用するうちに書込みや消去ができなくなった場合には、新しいSDカードをお求めください。
- SDカードの取扱いかたについては、各取扱説明書をご覧ください。

■ SDカードの誤消去防止について

たいせつなデータを誤って消去しないために、カード側面のライトプロテクトタブを「LOCK」に切り換えると、ロック状態(書込み禁止状態)にすることができます。本機以外で記録、編集、消去するときはロック状態を解除してください。

■ miniSDカード、microSDカードのアダプター装着のしかた

miniSDカード、microSDカードはSDメモリーカードの規格と互換性があり、専用のSDカードアダプターを装着するとSDメモリーカードとして使用できます。本機で使用するときは、必ずアダプターを装着した状態でお使いください。

ご注意！

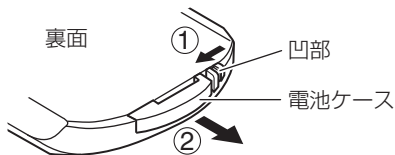
- microSDカードは直接SDカードアダプターに装着してください。microSDカードをminiSDカードアダプターに装着し、その上にSDカードアダプターを装着して使用しないでください。

準備

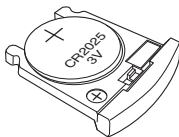
ご使用になる前の準備です。

リモコンの準備

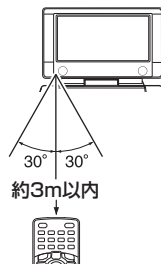
付属のリモコンは、所定のコイン型電池をいれてお使いください。コイン型電池をお使いになるときは、16 ページの注意をよくお読みください。

1 リモコンを裏返し、底部にあるツメの凹部を内側①の方向に寄せながら、電池ケースを矢印②の方向に引き出す

指先や爪を傷めないようご注意ください。

2 コイン型電池CR2025の⊕面を上にして、電池ケースにはめこむ

電池をケースから落とさないようご注意ください。

3 コイン型電池をはめた電池ケースを、リモコンに入れる

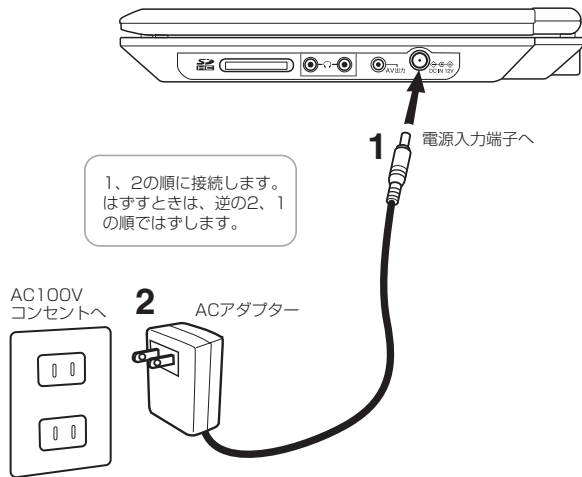
リモコンの操作範囲

本体から以下の範囲内で操作してください。

距離：リモコン受光部正面から約3m以内
角度：リモコン受光部から上下左右約30度以内
リモコン受光部に、太陽光や蛍光灯など強い光があたると、リモコンが動作しないことがあります。

- 落としたり、衝撃を与えないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。
- 分解しないでください。
- リモコンが動作しなかったり、到達距離が短くなったときは、新しいコイン型電池と交換してください。
- 指定以外のコイン型電池、または異物を挿入すると、リモコンの故障の原因となります。

ACアダプターの接続

室内のコンセントへは、付属のACアダプターを、以下のように接続してお使いください。

⚠警告

- **ACアダプターは家庭用交流100Vのコンセントに接続する**
  交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
- **ぬれた手でACアダプターを抜き差ししない**
  感電の原因となることがあります。
- **付属のACアダプターを使用する**
  指定以外のものを使用すると、火災・故障の原因となります。
  通電中、ACアダプターの表面温度が高くなる場合がありますが、故障ではありません。
  持ち運ぶときは、ACアダプターを抜き、温度が下がってから行ってください。

ご注意

- 付属のACアダプターは、本製品以外には使用しないでください。

バッテリーパックを使う

付属のバッテリーパックを装着すれば、屋外など電源コンセントがない場所でもお使いになれます。

⚠危険

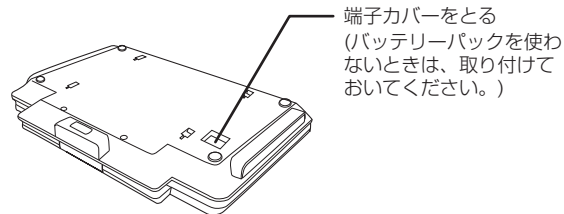
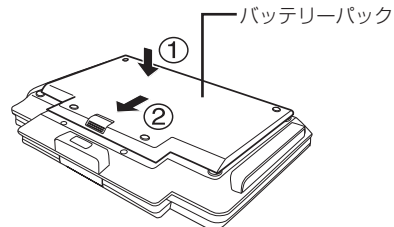
- **指定されたバッテリーパックを使用する**
  指定以外のバッテリーパックを使用すると、火災・故障の原因となります。
- **バッテリーパックを加熱・分解・ショートしたり、火の中へ投入しない**
  破裂・火災の原因となります。
- **バッテリーパックは正しく取り付ける**
  バッテリーパックが本体にしっかりと取り付けられているか確認してください。バッテリーパックがはずれ落ちて、けがの原因となります。

■ バッテリーパックの取り付けかた

1 本機の電源を切る

2 ACアダプターや外部機器などの接続コードを、すべて本体からはずす

3 本機を裏返しにして置く

4 本機底面の端子カバーをとる

5 バッテリーパックを裏返し、バッテリーパックのツメを本体の4ヵ所の穴に差し込む(①)
次に②の矢印の方向にバッテリーパックをカチッと音がするまでスライドさせる

お願い
- 使用後は、自動放電の防止や安全のため、本機からバッテリーパックをはずしてください。
  ACアダプターとバッテリーパックが付いた状態で、ご使用いただくことはできます。

■ バッテリーパックの充電

バッテリーパックは充電してお使いください。（電池残量が少なくなると、バッテリー表示［ ］が画面に表示されます。）特に、はじめてお使いになる前には、必ず充電を済ませてください。

1 本機の電源を切る
本機の電源を入れたままではバッテリーパックは充電できません。必ず本機の電源を切ってから充電してください。

2 本機にバッテリーパックを取り付ける

3 本機にACアダプターを接続する
（その他のコード類ははずした状態にしてください。）
充電が始まり、電源表示がオレンジ色に点灯します。充電が終了すると、電源表示が消灯します。

お知らせ
- 充電は温度が5℃～35℃の環境で行ってください。
- 電源表示がオレンジ色に点灯している間（充電中）は、ACアダプターを抜かないでください。

- 充電中や使用中はバッテリーパックがあたたかくなりますが、異常ではありません。
- 電源をACアダプターからバッテリーパックに切り換えると、自動的に画面が暗くなります。40 ページの［バックライト］の設定で、お好みに応じて明るさを変えてお使いください。

バッテリーパックの充電時間の目安	約5時間

- あくまでも目安です。バッテリーパックの状態や周囲の温度などによって変わります。

バッテリーパック使用時の放送連続視聴時間の目安	最大約6時間

バッテリーパック使用時のDVD連続再生時間の目安	最大約6時間

上記は目安であり、数値を保証するものではありません。
（25℃、ヘッドホーン使用、新品のバッテリーパック使用、［バックライト］（40 ページ）「暗」設定時）
- バッテリーパックの状態、使用条件、周囲の温度などによって変わります。
- 低温の環境で使用すると、連続再生時間および放送連続視聴時間が短くなります。

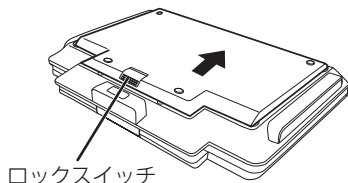
- バッテリーパックは消耗に伴い、まれに膨らむ場合があります。これはリチウムイオン電池の特性です。使用していて膨らみが見られたら、早めに「東芝DVDインフォメーションセンター」にご連絡ください。バッテリーは消耗品です。

■ バッテリーパックのはずしかた

1 本機の電源を切る

2 ACアダプターが接続してあれば本機からはずす

3 本機を裏返しにして置く

4 バッテリーパックのロックスイッチを押しながら、バッテリーパックを矢印の方向にスライドさせて取りはずす

5 端子カバーを取り付ける

お願い

- 端子カバーは、針金などの金属の接触によるショートから電極を保護するためにも、必ず取り付けてください。端子カバーを紛失した際は、裏表紙に記載の「東芝DVDインフォメーションセンター」にお問い合わせください。
- 本機の動作中（電源表示が緑色またはオレンジ色に点灯中）は、バッテリーパックを取りはずさないでください。

■ バッテリーパックの寿命について

バッテリーパックには寿命があります。正常に充電しても使用できる時間が著しく短くなった場合は、新しいバッテリーパックをお求めください。お求めについては、お買い上げの販売店または裏表紙に記載の「東芝DVDインフォメーションセンター」にお問い合わせください。（形名：SD-PBP96HJ）

■ バッテリーパックのリサイクルについて

不要になったバッテリーパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで電池リサイクル協力店へお持ちください。その場合、ショート防止のために必ず金属端子部にテープ等を貼って絶縁してください。

以下より、リサイクル協力店の検索を行なうと、全国各地のリサイクル協力店が簡単に見つかります。

一般社団法人JBRC　ホームページ

http://www.jbrc.com

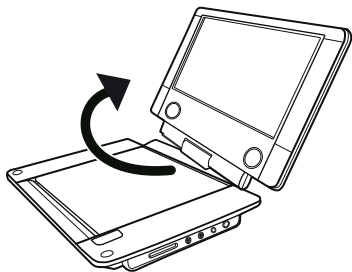
液晶画面の向きを変える

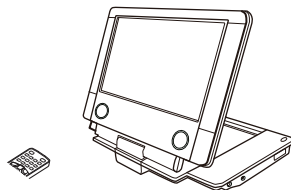
液晶画面は180度まで向きを変えられます。

■ 液晶画面の向きを変えるには

1 本機を机などの平らな場所に置く

2 液晶画面を垂直の角度まで起こす

3 本体下側をおさえながら、液晶画面を「反転」の方向へゆっくりとカチッと音がするまで180度回す

4 液晶画面の角度を調整する

液晶画面は最大で水平にまで倒せます。

■ 液晶画面のもどしかた

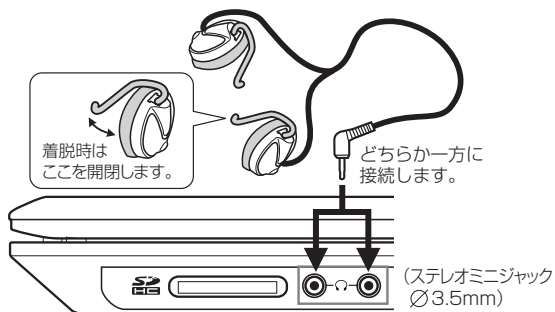
1 液晶画面を垂直の角度まで起こす

2 本体下側をおさえながら、液晶画面を「戻る」の方向へゆっくりとカチッと音がするまで180度回す

お知らせ

- 液晶画面は180度以上は回りません。また表示と逆の方向へも回せません。無理に回そうとすると故障の原因となります。
- 液晶画面を上向きにしたまま、保管やバッテリーパックの着脱を行わないでください。液晶画面がよごれたり、周囲の衝撃で傷ついたりすることがあります。

ヘッドホーンを接続する

本機には、ステレオミニジャック（∅3.5mm）のヘッドホーンが接続できます。

- ヘッドホーンの抜き差しは、誤動作防止のため、本機の電源を切ってから行ってください。
- 接続するときは、いったん音量を下げ、再生が始まったらお好みの音量に調節してください。音量の調節のしかたは、39 ページをご覧ください。
- ヘッドホーンは、二つ接続できます。ヘッドホーンを二つ使用する場合には、市販のヘッドホーンをお使いください。
- ヘッドホーンが接続されているときは、本体のスピーカーから音声は出力されません。

⚠注意

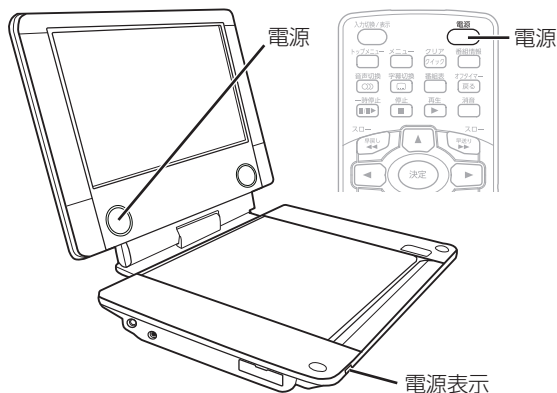
- **ヘッドホーンをご使用になるときは、音量を上げすぎない**
  耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

電源の入れかた／切りかた

テレビ放送を見る場合は、はじめに電源プラグをコンセントから抜いて電源が切れている状態で「miniB-CASカードを入れる」（44ページ）と「アンテナを準備する」（45ページ）を行ってください。

本体またはリモコンの「電源」を押す

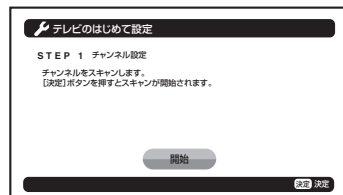
本体の電源表示が点灯します。

電源を切るときは、もう一度押します。

ご注意！

- はじめてお使いになるときは、電源を入れる前に必ず本体の「オープン」を押してディスクカバーを開け、中にある保護シートを取り出してください。

電源表示	電源の状態
緑	入 / 番組表情報取得中 / ソフトウェアダウンロード中
消灯	切（待機状態）
オレンジ色	バッテリーパックの充電中

- 本機の電源を完全に切るには、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

お買い上げ後、はじめて電源を入れたときは、以下の画面が表示されます。

テレビ放送を受信するには、45ページのアンテナの準備を行ったあと、46ページからの「チャンネルを設定する」でチャンネルを設定してください。

ディスクやSDカードの再生をするときは、38ページの手順でモードを切り換えてお使いください。

モードを切り換える

本機では、モードを切り換えることでテレビ放送やディスク、SDカードの映像が楽しめます。

1 **「入力切換」を押す**

モードの選択画面が表示されます。

・もう一度「入力切換」を押すと、選択画面が消えます。

2 **方向ボタン（▲/▼）を押して、モードを選ぶ**

モード	機能
TV	本機でテレビ放送を受信・視聴するとき。
DVD/CD	ディスクを再生するとき。
SDカード	SDカードに記録されたファイルを再生するとき。

3 **「決定」を押す**

選択したモードに切り換わります。

お知らせ

- 電源を入れたときは[TV]モードになります。
- ディスクを再生するときは、必ず[DVD/CD]にしてください。[DVD/CD]以外のモードでは、ディスクの再生はできません。
- AV出力中（86 ページ）はモードの切り換えはできません。

モード共通の操作

音量を調節する

「**音量**」を押す

＋：音量を上げる

－：音量を下げる

音量バーが画面に表示されます。

何も操作しないと、画面の表示は数秒で消えます。
消音するには、「**消音**」を押します。もう一度「**消音**」を押すか、「**音量**」を押すと、消音が解除されます。

本機の電源を自動的に切る（オフタイマー）

オフタイマーを設定すると、設定時間後に電源が切れて、待機状態になります。

「**シフト**」を押しながら「**オフタイマー**」をくり返し押して、設定する時間を選ぶ

押すたびに、以下のように切り換わります。

0h00m → 0h15m → 0h30m → 1h00m → 1h30m → 2h00m →（0h00m）

設定を解除する場合は、[0h00m]を選びます。

※　h＝時間、m＝分を示します。

クイックメニューの使いかた

本機では、モードや操作状況によって使える機能を、一覧表示させて（[クイックメニュー]）その中から選べます。

どのモードでも共通の操作で使えます。

1 「クイック」を押す

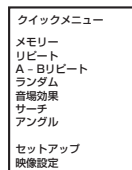
機能や設定名が一覧表示されます。

内容はモードや操作状況で異なります。

例）[**DVD/CD**]モードのとき

クイックメニュー

メモリー
リピート
A－Bリピート
ランダム
音場効果
サーチ
アングル

セットアップ
映像設定

操作しないと、画面の表示は数秒で消えます。

2 方向ボタン（▲/▼）で項目を選び、「決定」を押す

3 項目の詳細を設定する

映像を調整する

本機の液晶画面が対象です。テレビなど外部機器につないで見る場合には、外部機器で調整してください。

1 「クイック」を押して［クイックメニュー］を表示させる

2 方向ボタン（▲/▼）で［映像設定］を選び、「決定」を押す

3 方向ボタン（◀/▶）で、［映像メニュー］の［標準］または［メモリー］を選ぶ

標準：　お部屋で落ち着いた雰囲気で楽しむとき（日常、ご家庭で使用するとき）の推奨値です。

メモリー：お好みで調整した設定値で見られます。（調整のしかたは右表をご覧ください。）

操作しないと、設定画面の表示は数秒で消えます。

4 「クイック」を2回押して、［クイックメニュー］を消す

▲/▼で選択	設定	◀/▶で調整
明るさ	00～100	暗くなる ⇔ 明るくなる
コントラスト	00～100	低くなる ⇔ 高くなる
バックライト	暗（暗い）⇔ 中 ⇔ 明（明るい）	
色の濃さ	-50～+50	淡くなる ⇔ 濃くなる
色あい	-50～+50	紫っぽくなる ⇔ 緑っぽくなる
シャープネス	-07～+07	やわらかい映像になる ⇔ くっきりした映像になる
画面サイズ切換*	自動	映像にあわせて、16:9または4:3の画面サイズで表示します。
	16:9	画面いっぱいに映像を表示します。 ・16:9の映像はそのままの縦横比で表示します。 ・4:3の映像は横伸びします。
	4:3	4:3の画面サイズで映像を表示します。 ・4:3の映像は、左右に黒い帯がつきますが、そのままの縦横比で表示されます。 ・16:9の映像は左右に黒い帯がつき、縦伸びします。
初期設定に戻す	「決定」を押すと、調整した項目を、お買い上げ時の状態にもどします。	

* この設定の内容は、DVDの映像モード設定によって異なる場合がありますので、お好みに合わせて設定してください。

テレビを見る

本機で地上デジタル放送の視聴ができます。

- 受信の前に
- 放送を見る
- テレビ機能の設定

受信の前に

本機で受信できるテレビ放送

本機では、地上デジタル放送とワンセグ放送を受信することができます。(地上アナログ放送、BS・110度CSデジタル放送を受信することはできません。)

屋内でお使いになるときは、各部屋にあるアンテナ線を本機に接続して高画質の地上デジタル放送を、外出先ではワンセグ放送をと、お好きな場所で放送を受信してテレビ番組が楽しめます。

■ 地上デジタル放送の特徴

地上波のUHF放送(13ch～62ch)の周波数帯域を使った放送です。
最新のデジタル技術を活用することで、高画質(ハイビジョン放送)・多チャンネルのテレビ放送が可能です。
また、音声信号を効率よく圧縮して放送することができ、原音に近い高音質な音声が楽しめます。

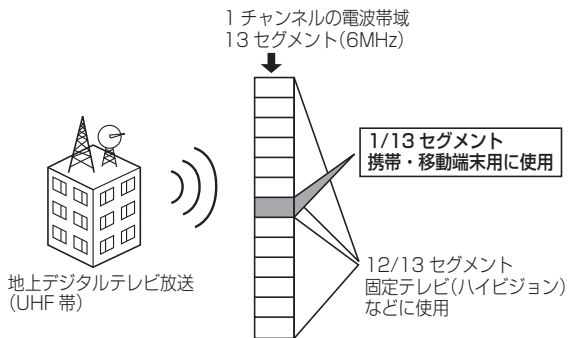
(ただし、本機では対応していない内容があります。98 ページ)

お知らせ

- 地上デジタル放送を受信するには、本機の他に地上デジタル放送の受信に対応したUHFアンテナが必要です。
- CATV(ケーブルテレビ)の受信には、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。接続やご利用方法については、機器や会社ごとに異なります。ご加入しているCATV会社にお問い合わせください。
- 本機は地上デジタル放送の双方向通信サービスには対応していません。
- 本機は地上デジタル放送のデータ放送サービスには対応していません。
- 放送によっては、画面の上下左右に黒い帯が表示されます。

■ ワンセグ放送の特徴

ワンセグは、携帯機器向け地上デジタルテレビ放送です。1チャンネル（6MHz）の帯域を13セグメントに分割し、そのうちの1セグメントを携帯機器向けに利用していることからワンセグと呼ばれています。

受信状態	地上アナログ放送よりも安定して電波を受信できます。
画質	携帯機器用の放送のため、多少画質が粗くなったりします。
受信地域	地域や放送局によって異なります。

- ワンセグは、2006年4月に開始され、地上デジタルテレビの放送地域拡大により順次受信可能なエリアが拡大される予定です。ただし、放送局によってはワンセグが放送されない場合があります。
- ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。
- 放送波で放送されるワンセグの映像・音声・データ放送の受信はお申し込みが不要な無料のサービスです。
- 「ワンセグ」サービスの詳細および受信可能なエリアについては、下記ホームページなどでご確認ください。
  社団法人　デジタル放送推進協会　http://www.dpa.or.jp

お知らせ

- ワンセグ放送には、ほとんどの番組にコピー制限があり、番組制作者などの著作権を守るための制御信号を入れて放送しています。本機はコピー制御信号に対応しています。
- 放送によっては、画面の上下左右に黒い帯が表示されます。

miniB-CASカードを入れる

本機に同梱されているminiB-CASカードは、地上デジタル放送の受信や「放送局からのお知らせ」の受信などに必要です。

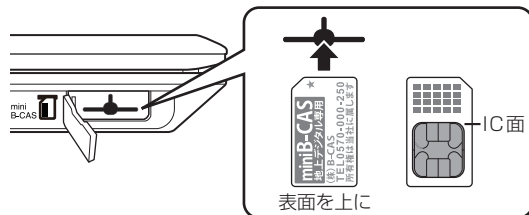
miniB-CASカードは常時、本機に挿入しておいてください。

miniB-CASカードの登録のしかたや取扱いについて詳しくは、カードが貼ってある説明書をご覧ください。説明書は、よくお読みのうえ、たいせつに保管してください。

ご注意
- miniB-CASカードスロットにminiB-CASカード以外入れないでください。故障や破損の原因となります。
- 使用中にminiB-CASカードを抜き差ししないでください。

お知らせ
- miniB-CASカードのカードの破損、紛失、盗難などの場合、および本機の廃棄などでカードが不要になった場合や登録名義を変更する場合は、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにご連絡ください。お問い合わせ先については、カードが貼ってある説明書をご覧ください。

1 miniB-CASカードスロットのカバーを開く

2 本機の電源が切れていることを確認し、miniB-CASカードの表面を上にして、「カチッ」と音がするまで奥へ差し込む

取り出すときは、中央部をいったん押し込み、出た端をつまんでゆっくり抜きます。

3 miniB-CASカードスロットのカバーを閉める

⚠注意

- アンテナを接続するときは、必ず本機および接続機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグはすべての接続が終わってから、コンセントに接続してください。
- 同軸ケーブル両端のコネクターのピンが曲がっていないか、確認してください。曲がったままで接続すると、ショートすることがあります。

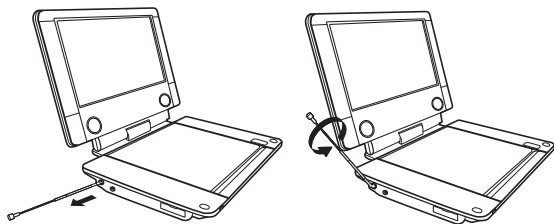
アンテナを準備する

テレビ放送を視聴するときは、アンテナを使用してください。

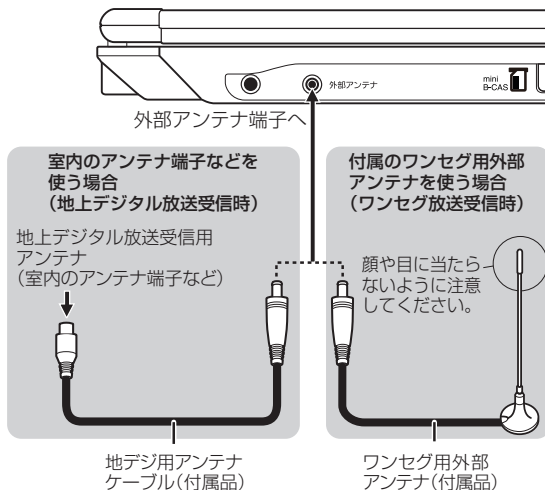
お知らせ

- 地域・場所によっては受信状態が悪くなったり、全く受信できなくなる場合があります。

■内蔵アンテナを使う場合（ワンセグ放送受信時）

アンテナを真横に伸ばします。 最後まで引き伸ばすと、アンテナの向きを変えられます。

※ アンテナを無理に引き伸ばしたり、曲げたりしないでください。

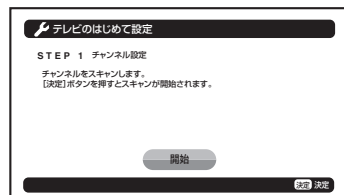
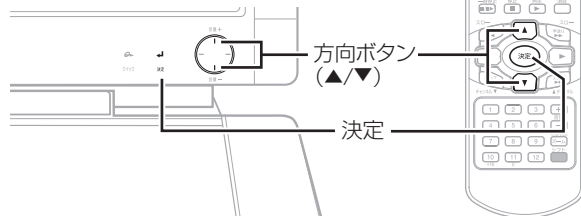
■アンテナ端子を使う場合

安定した受信のために、アンテナ端子への接続をおすすめします。

ご注意!
- 本機以外のポータブルDVDプレーヤーなどに接続しないでください。故障の原因となります。

お知らせ
- 室内アンテナをお使いになると、受信できない場合や受信が安定しない場合があります。
- UHFアンテナがすでに設置されていても、状況によってはアンテナの交換やアンテナ方向の変更などが必要になる場合があります。
- UHFアンテナ線は同軸ケーブルをおすすめします。
- アンテナ線を他のデジタル機器に近づけないでください。受信障害の原因となることがあります。
- UHFアンテナは定期的な点検・交換をおすすめします。アンテナの設置場所は、屋外のため痛みやすく性能が低下します。特にばい煙の多い地域、温泉、海岸の近くでは痛みやすくなります。映りが悪くなったときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 地上デジタル放送は一般的にUHFアンテナで受信しますが、CATV(ケーブルテレビ)で伝送される場合や共聴システムで伝送される場合もあります。詳しくは、共聴システム管理者(マンション管理者や管理組合など)や、お住まいの地域のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。
- 混合器、分波器、分岐器、ブースターなどを使用する場合は、地上デジタル放送の伝送チャンネルに対応したものをお選びください。

チャンネルを設定する

テレビ放送を見るには、受信できる放送を本機に設定する必要があります。お買い上げ時は未設定です。以下の手順でチャンネルを設定してお使いください。一度設定すると、再設定しないかぎり、電源を切っても記憶されています。

はじめて本機の電源を入れたときは、「テレビのはじめて設定」の画面が表示されています。

設定の操作には、おもにこれらのボタンを使います。本体・リモコンとも働きは同じです。

1 **「決定」を押す**

受信できる放送（地上デジタル放送/ワンセグ放送）のスキャンが始まります。

終了までしばらくかかります。

正常に終了すると、受信中の放送が映ります。

テレビ視聴の準備は完了です。「放送を見る」（49 ページ）にしたがって操作してください。

テレビを見るときは、必ず［**TV**］モードに切り換えてください。（38 ページ）

■チャンネルの表示番号を変える（地上デジタル放送のみ）

ふだんお使いのテレビと違うチャンネルに設定された放送局は、番号を変えて使うと便利です。

1 「**メニュー**」を押す

2 **方向ボタン**（▲/▼）で［受信設定］を選び、「**決定**」を押す

3 ［チャンネル設定］が選ばれていることを確認して、「**決定**」を押す

4 **方向ボタン**（▲/▼）で［リモコンボタン割り当て］を選び、「**決定**」を押す

5 番号を変えたいボタンを**方向ボタン**（▲/▼）選び、「**決定**」を押す

6 **方向ボタン**（▲/▼）で、割り当てたい放送局を選び、「**決定**」を押す

7 **方向ボタン**（▶）で［完了］を選び、「**決定**」を押す

8 「**メニュー**」を押して、メニューを消す

お知らせ

• チャンネルを設定し直すと、この設定内容は消去されます。

■ チャンネルを設定し直す

出張や旅行などふだんと違う場所でお使いのときは、その地域の放送が受信できるよう、チャンネルを設定し直してください。

チャンネルを設定し直すと、番組表やチャンネルに関するデータが初期化されます。

1 「**メニュー**」を押す

メニューが表示されます。

2 **方向ボタン**(▲/▼)で[受信設定]を選び、「**決定**」を押す

3 [チャンネル設定]が選ばれていることを確認して、「**決定**」を押す

4 **方向ボタン**(▲/▼)で[チャンネルスキャン]が選ばれていることを確認して、「**決定**」を押す

5 **方向ボタン**(◀/▶)で[はい]を選び、「**決定**」を押す

受信できる放送(地上デジタル放送/ワンセグ放送)のスキャンが始まります。

スキャンが終わるまでしばらくかかります。

スキャンが正常に終了すると、手順**4**の画面に戻ります。

6 「**メニュー**」を押して、メニューを消す

放送を見る

■ チャンネルを切り換える

「チャンネル（▲/▼）」または番号ボタンで選局する

地上デジタル放送では、1チャンネル分の周波数で最大3番組までを放送することができます。これらの番組（マルチチャンネル）は、「チャンネル（▲/▼）」で選局してください。

お知らせ

- 選局後、映像と音声の出力までに数秒かかります。
- 付属のワンセグ用外部アンテナを使うときは、方向を変えて、受信状態が良くなるように調整してください。（電波の弱い地域や移動しているときなどは、受信状態が不安定になります。）

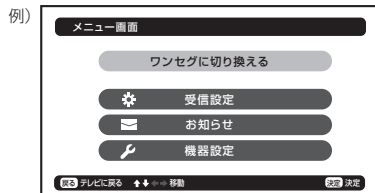
■ 音量を調節する

39 ページをご覧ください。

■ 地上デジタル放送/ワンセグ放送を切り換える

1 「**メニュー**」を押す

メニューが表示されます。

例）

2 ［ワンセグに切り換える］（または［地上デジタルに切り換える］が選ばれていることを確認して、「**決定**」を押す

お知らせ

- ［TV］モードにしたとき最初にどちらを視聴するかを、あらかじめ設定しておけます。54 ページの“テレビ起動時の放送”をご覧ください。

■ 番組表を表示する(番組表／裏番組表)

1「**番組表**」を押す

各局の放送予定の一覧(番組表)が表示されます。

例)

ここに操作の説明が表示されます。

- 「**戻る**」を押すと、視聴中の番組に戻ります。
- 方向ボタンで番組表内を移動できます。(番組表から番組を選んで見ることはできません。)
- 番組を選んで「**決定**」を押すと、選んだ番組の詳細情報が表示されます。「**戻る**」を押すと、番組表に戻ります。
- 番号ボタンの「**2**」を押すと翌日の番組表へ、「**1**」を押すと前日または現時刻の番組表へ切り換わります。最大約8日先までの番組表を表示できます。
- 「**3**」をくり返し押すと、番組表の文字表示を拡大・縮小します。
- 「**4**」を押すと、番組表メニューが表示されます。

項目名	方向ボタン(▲/▼)で項目を選び、「決定」を押す
番組記号一覧	番組表で使われている記号の一覧を表示します。「戻る」を押すと番組表へ戻ります。
番組表取得	番組表を最新の状態に更新します。「決定」を押すと開始します。
代表チャンネル/マルチチャンネル	地上デジタル放送では1チャンネル分の周波数で最大3番組までを同時に放送することができます。 1チャンネル分の番組欄の表示を、3番組(マルチチャンネル)または、代表の1番組(代表チャンネル)に切り換えます。

2 もう一度「**番組表**」を押す

他のチャンネルで放送中の番組が一覧表示(裏番組表)されます。

例)

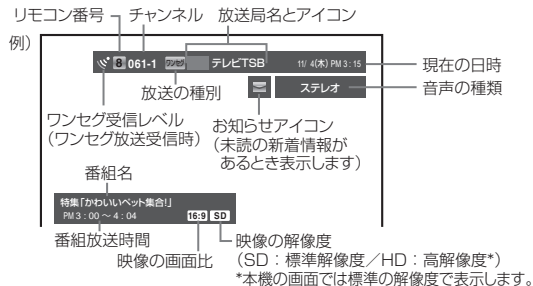
・方向ボタン(▲／▼)で番組を選んで「**決定**」を押すと、選んだ番組を視聴できます。

3「戻る」を押して、番組表を消す

テレビを見る

■番組情報を見る

番組を見ているときに、「番組情報」を押す

現在視聴している番組の情報が表示されます。

もう一度「番組情報」を押すと、表示が消えます。

お知らせ

- 番組表情報の取得には時間がかかる場合があります。
- 番組情報を取得するタイミングによっては、最新の情報を表示できないことがあります。
- 初めて視聴するときには、番組表が表示されないチャンネルがあります。そのチャンネルを一定時間視聴することで、番組表情報を取得できます。

■音声を切り換える

音声多重放送番組の視聴中に、音声を切り換えます。

「音声切換」をくり返し押して、聴きたい音声を選ぶ

■字幕を切り換える

字幕のある番組の視聴中に、字幕の表示／非表示を切り換えます。

「字幕切換」をくり返し押して、見たい字幕を選ぶ

お知らせ

- 字幕を表示中に一部の操作をすると、字幕表示は消えます。通常画面にもどると、ふたたび字幕を表示します。

■映像を切り換える

別の映像が含まれている番組の視聴中に、映像を切り換えます。

「シフト」を押しながら「映像切換」をくり返し押して、見たい映像を選ぶ

データの自動受信について

地上デジタル放送の番組表や番組情報のデータ、および本機のソフトウェアのバージョンアップ用データは、放送電波で送られてきます。これらのデータは、本機の電源を切って待機状態に変えると、自動的に本機が取得を始めます。データ取得が始まると自動的に本機の電源がはいり（本体の電源表示が緑色に点灯）、液晶画面に“各種情報取得中”と表示されます。作業が終わると、消灯の状態に戻ります。**データ取得中（電源表示が緑色に点灯中）は、絶対に電源プラグを抜かないでください。故障の原因になります。**
長時間の使用のくり返しなどによって本機の待機状態が極端に少ないと、データの取得が行われず、番組表の表示が不完全になることがあります。また、電波や放送局および本機の状態によって、データ取得が完了しない場合もあります。このときは、電源を切って本機を待機状態にし、約1時間放置してみてください。

・お買い上げ直後や電源を入れた直後などには、番組内容の表示に時間がかかることがあります。
・アップデート用プログラムを受信したときは、その内部処理が終わってから番組データを受信します。

ソフトウェアのバージョンアップについて

本機には、本機の機能を実現するためにソフトウェアが搭載されています。東芝が本機のソフトウェアを書き換えて更新することによって機能の改善などを行うことがあります。
本機では、放送局がデジタル放送の電波の中にソフトウェアを入れて送信し、それをダウンロードすることによって、バージョンアップを行います。
ダウンロードには、特に操作は必要ありません。本機が電波を検知して、自動的に行います。
自動ダウンロードは、本機の電源が「待機状態」（本体の電源表示が消灯）のときにだけ行われます。
ソフトウェアのダウンロードが始まると自動的に本機の電源がはいり（本体の電源表示が緑色に点灯）、液晶画面に“各種情報取得中”と表示されます。
ソフトウェアのバージョンアップ作業が終わると、自動的に電源が切れ、本体の電源表示が消灯します。

ご注意

ダウンロード中（電源表示が緑色で点灯中）は、本機の電源プラグを抜かないでください。

ダウンロード中に電源を抜くと、作業が中止され、本機が正常に動作しなくなる場合があります。万一動作しなくなったときは、「東芝DVDインフォメーションセンター」（裏表紙）にご連絡ください。
バージョンアップについてくわしくは、以下の当社ホームページをご覧ください。
http://www3.toshiba.co.jp/hdd-dvd/support

テレビを見る

テレビ機能の設定

テレビに関する機能の設定変更や、情報の確認をするためのメニュー画面です。

1 **番組視聴中に、「メニュー」を押す**

2 **設定の種類を方向ボタン（▲/▼）で選び、「決定」を押す**

3 **項目を方向ボタン（▲/▲）で選び、「決定」を押す**

4 **以下の表の説明を参照して、項目の内容を方向ボタンなどで設定し、「決定」を押す**

他の項目を設定するときは、「戻る」を押して手順2～4をくり返します。

5 **「メニュー」を押す**

設定画面が消え、設定は終わりです。

設定の種類	設定項目		設定内容・手順
ワンセグに切り換える（地上デジタルに切り換える）			［TV］モードにしたときに最初に視聴する放送の種類を選びます。「決定」を押してください。
受信設定	チャンネル設定		
		チャンネルスキャン	移動した場合や、放送局の開局などで放送チャンネルに変更があった場合はこの項目を選び、チャンネルを設定し直します。（48 ページ）
		リモコンボタン割り当て	リモコンの番号ボタンに割り当てる放送局を設定します。（47 ページ）
	アンテナ設定		アンテナの受信レベルを表示します。 チャンネル：**方向ボタン**（▲/▼）で伝送チャンネルを選び、「**決定**」を押すと、受信レベルを確認できます。（表示されている数値は目安です。） ビープ音：　受信レベルによって音のパターンが変化します。 **オン／オフ**
	簡易テスト		miniB-CASカードが正常に動作しているか確認します。

設定の種類	設定項目		設定内容・手順
お知らせ	本機からのお知らせ		受信機のソフトウェアのアップデートなどに関するお知らせが表示されます。お知らせが1件もない場合は、情報がないことを示すメッセージが表示されます。閉じるときは「**決定**」を押します。
	放送局からのお知らせ		デジタル放送に関わるお知らせがある場合、選んで「**決定**」を押すと、お知らせが表示されます。閉じるときは「**決定**」を押します。
機器設定	機器情報		本機のソフトウェアのバージョンとminiB-CASカードの情報を確認できます。(登録番号を確認するための項目で、設定の変更はできません。)
	デジタル放送設定		**方向ボタン**(▲/▼)で項目を選び、「**決定**」を押して各項目を設定します。
		テレビ起動時の放送	[**TV**]モードにしたとき最初に地上デジタル放送とワンセグ放送のどちらを受信するかを設定します。
		字幕切換	字幕放送の場合に優先して表示させる字幕を設定します。(設定した言語が視聴している放送にない場合は、その放送にしたがって表示されます。) **オフ**(字幕を表示しません)/**第1言語**/**第2言語**
		映像切換	マルチビュー放送の場合に優先して表示させる映像を設定します。 **オフ**(通常の放送)/**映像1**/**映像2**
		文字スーパー	地上デジタル放送には文字スーパー表示機能があり、災害時の速報などに使用されます。文字スーパーの表示/非表示を選べます。複数言語の文字スーパーに対応した番組の場合には、本機で表示する言語を第1言語、第2言語から選択できます。(設定した言語が視聴している放送にない場合は、その放送にしたがって表示されます。) **オフ**(非表示)/**第1言語**/**第2言語**
		緊急放送自動切換	災害などの緊急時に緊急警報放送が放送されたとき、自動的に緊急警報放送に切り換わるように設定できます。地上デジタル放送受信時([**TV**]モード時)のみ、この機能が働きます。 **オン**(切り換わります)/**オフ**(切り換わりません)

設定の種類	設定項目	設定内容・手順
機器設定	テレビの設定初期化	これらの設定をお買い上げ時の状態にもどします。 [はい] を選び、「**決定**」を押すとテレビ受信に関する設定がすべて初期化されます。[テレビのはじめて設定] の画面 (46 ページ) に戻ります。

ディスクの再生

ディスクを再生してみましょう。

- ディスクを入れる
- ディスクを再生する
- 再生の速さを変える
- 拡大する（ズーム再生）
- 見たいシーンを探す
- 順不同に再生する（ランダム再生）
- くり返し再生する（リピート再生）
- 好きな順番で再生する（メモリー再生）
- アングル（場面の角度）を切り換える
- 字幕の言語を切り換える
- 音声を切り換える
- 広がりのある音にする
- 操作状況や情報を表示させる
- 音楽／動画・画像ファイルを再生する

ディスクを入れる

再生できるディスクは、24ページでご確認ください。

1 液晶画面部を開く

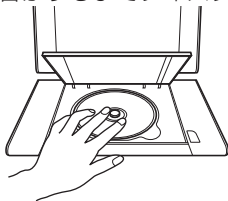
2 本体の「オープン」を押す

ディスクカバーがあきます。

はじめてお使いになるときは、ディスクカバー内にある保護シートを取り出してください。

3 ディスクをはめる

再生面を下にして、カチッと音がするまでディスクの中央付近を指で確実に押します。

はめかたが不完全だとディスクが認識されず、正常な再生ができません。また、ディスクを傷つける原因になります。

4 ディスクカバーを閉める

「クローズ」を押して閉めます。

■ディスクを取り出すときは

本体の「**オープン**」を押して、ディスクカバーをあけ、完全に停止したディスクを（回転が続いていることがありますのでご注意ください）、ふちから静かに持ち上げてディスクホルダーからはずします。

⚠注意

- **回転中のディスクに触れない**
  けがや故障の原因となります。
- **ディスクカバーを閉めるとき、手を入れない**
  手をはさみ、けがの原因となることがあります。
- **ディスクカバーは、無理な角度まであけない**
  故障の原因になります。
- **ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない**
- **本機で再生できないディスクやディスク以外のものを入れない**
- 再生中に本機を傾けたり、揺らしたり移動させたりしないでください。ディスクを傷めてしまいます。
- **長時間の再生のあとで、ディスクホルダーの中央部に触れない**
  ホルダーの中央部が熱くなっていることがあります。ディスクを取り出すときは十分注意してください。

ディスクを再生する

DVD-V VCD CD

本書では、機能ごとにお使いになれるディスクの種類を、以下のマークで表わしています。

DVD-V ：DVDビデオディスク　VCD ：ビデオCD　CD ：音楽用CD

■ 準備

• 本機の電源を入れる。
• 再生するディスクを本機に入れる。

ご注意！

• 移動中の車内などで本機を使用しないでください。振動などで、本来の再生ができなくなったり、ディスクが傷つくおそれがあります。

1 38 ページの手順で、［DVD/CD］モードに切り換える

2 「再生」を押す

再生が始まります。

• トップメニューが記録されたDVDビデオディスクや、プレイバックコントロール（PBC）付きビデオCDを再生したときは、メニュー画面が表示されます。DVDビデオディスクのときは「トップメニューを使う」（60 ページ）をご覧ください。
• ディスクメニュー画面は、トップメニューボタンや、メニューボタンを押して表示させる場合があります。（DVDビデオディスクによって異なります。）
• 音楽用CDのときは、メニューが表示されます。操作方法は、「音楽／動画・画像ファイルを再生する」（72 ページ）をご覧ください。

3 再生を止めるには、「停止」を押す

続き再生機能（レジューム再生）について

再生を停止した位置を本機が記憶し、その続きから再生できる機能です。
再生中に「停止」を押して再生を停止したあとに「再生」を押すと、停止した位置から再生が始まります。

• 続き再生の情報は、ディスク５枚分まで本機に記憶することができます。６枚目のディスクを入れると、一番古い記憶情報が消去されます。
• 続き再生をしないで、始めから再生するときは、「停止」を２回押すと、記憶情報が消去されます。

お知らせ

• PBC付きビデオCDを、「PBC」を「オン」の設定で再生しているとき（「機能設定」章を参照）にはこの機能は働きません。
• ディスクによって、レジューム再生の始まる位置が変わることがあります。

再生を一時停止する(静止画再生)

再生中に、「**一時停止**」を押す

映像が静止し、音声が消えます。

普通の再生に戻すには、「再生」を押します。

音量を調節する

リモコンの「**音量**」(＋/－)を押す
または
本体の「**音量**」(＋/－)を押したままにする

＋：音量が上がる

－：音量が下がる

お願い

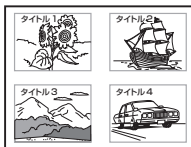
- 再生が終わったあと、メニュー画面などが表示されるディスクがあります。テレビに接続してご覧の場合、メニュー画面などの静止画面が長く続くと、画面に焼き付きが生じることがあります。必ず「停止」を押して、再生を終了してください。

トップメニューを使う

DVD-V　VCD　CD

1 「**トップメニュー**」を押す

ディスクのトップメニューが画面に表示されます。

例)

2 **方向ボタン**(▲/▼/◀/▶)を押して、再生するタイトルを選ぶ

タイトルに番号がついていれば、番号ボタンでも選べます。

3 「**決定**」を押す

選んだタイトルのチャプター1から再生が始まります。

お知らせ

- この手順は基本的な操作手順です。ディスクによっては手順が異なりますので、操作手順が画面に表示されている場合は、その手順にしたがってください。
- トップメニューが記録されていないディスクでは、トップメニューは表示されません。
- ディスクの説明書によっては、トップメニューを表示するボタンを「TITLE(タイトル)」ボタンと呼んでいる場合があります。

■ スクリーンセーバー（焼付き防止機能）について

画面を焼付きから保護するための機能です（焼付き防止を保証するものではありません）。

ディスクが入っていない状態や停止状態がおよそ20分程続くと、スクリーンセーバーが自動的に働きます（「スクリーン・セーバー」（「機能設定」の章を参照）を「オン」に設定しているとき）。スクリーンセーバーを解除するときは、本体またはリモコンのボタンのどれかを押してください。

■ オートパワーオフ機能

停止状態やスクリーンセーバーが約20分間続くと、電源が切れます。

再度お使いのときは、電源を入れなおしてください。

■ 液晶画面について

- カラー液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術を駆使して作られていますが、一部に常時点灯する画素や点灯しない画素が存在することがあります。これらの画素は、少量に抑えるよう管理していますが、現在の最先端の技術でもなくすことは困難ですので、ご了承ください。
- 液晶画面は、見る角度によって微妙に明るさなどが変わります。きれいに見える角度に調節してご覧ください（なるべく画面に対して直角になる位置から見ることをおすすめします）。

再生の速さを変える

早戻し／早送りする

DVD-V　VCD　CD

再生中に、「**早戻し**」「**早送り**」を押す

◀◀：早戻しの再生

▶▶：早送りの再生

押すたびに速さが切り換わります。

普通の再生に戻すには、「再生」を押します。

- 本体の「スキップ」を押し続けると、早戻し／早送りの再生になります。
  同じ操作をくり返すと速さが切り換わります。

お知らせ

- DVDディスクでの早戻し、早送り再生中は、音声と字幕（副映像）は再生されません。
- 早送り、早戻しの速さはディスクによって異なります。
- VRモードで記録されたディスクは、記録状態などによって、早戻し／早送りができない場合があります。

コマ送りで再生する

DVD-V　VCD　CD

一時停止中に、「**一時停止**」を押す

1回押すたびに、1コマずつ進みます。

コマ送り再生中は、音声は再生されません。

普通の再生に戻すには、「再生」を押します。

スローモーションで再生する

DVD-V　VCD　CD

再生中に、「**シフト**」を押しながら「**スロー（早送り／早戻し）**」を押す

「シフト」を押しながら「スロー（早戻し）」ボタンを操作すると、戻し方向のスローモーションで再生します（DVDビデオディスク再生時）。

押すたびに、速さが切り換わります。

スローモーション再生中は、音声は再生されません。

普通の再生に戻すには、「再生」を押します。

お知らせ

- 速さの表示はおおよそです。再生するディスクによっても異なります。

拡大する(ズーム再生)

DVD-V VCD CD

1 再生中に、「ズーム」を押す

ズームアイコンが表示されます。

スロー再生中、一時停止中、早送り中、早戻し中でも操作できます。

例)

x2

2 ズームの倍率と位置を選ぶ

- **倍率:「ズーム」をくり返し押す**

押すたびに以下のように切り換わります。

[X2](2倍表示)

[X3](3倍表示)

[X4](4倍表示)

[オフ](ズーム再生終了)

- **位置:方向ボタン(▲/▼/◀/▶)を押す**

■ 普通の再生に戻すには

再生中に、画面に[オフ]が表示されるまで、「**ズーム**」をくり返し押す

お知らせ

- ディスクによっては、ズーム再生できないものがあります。
- 場面によっては、ボタン操作が正しく働かないことがあります。
- 字幕やメニューの選択表示(マーク)などの副映像部分や画面表示部分は拡大されません。

見たいシーンを探す

DVD-V　VCD　CD

前後のチャプター／トラックへスキップする

1 「スキップ」をくり返し押して、再生するチャプター／トラック番号を出す

選んだチャプター／トラックから再生が始まります。

▶▶I：一つ先のチャプター／トラックの先頭から再生します。

I◀◀：現在のチャプター／トラックの先頭から再生します。
連続して押すと、一つ前のチャプター／トラックの先頭から再生します。

番号を指定してシーンを探す

1 再生中に、「クイック」を押したあと[クイックメニュー]で[サーチ]を選び、「決定」を押す

サーチ画面が表示されます。

例：DVD-V

2 方向ボタン（▲/▼）を押して、シーンを探す方法を選ぶ

- タイトル、チャプター、トラックで探す場合は、[タイトル]、[チャプター]、または[トラック]を選びます。
- ディスクの経過時間を指定して探す場合は、[タイム]を選びます。

CDの場合：
[タイム]　現在のトラックの経過時間を指定
[ディスクタイム]　ディスク全体の経過時間を指定

3 番号ボタンを押して、番号を入力する

- タイトル／チャプターの例）「25」を入力するには「2」→「5」の順に押します。

DVDビデオディスクでは、[タイトル]と[チャプター]の入力位置を、方向ボタン（▲/▼）で切り換えられます。

- タイムの例）1時間25分45秒の経過時間を入力する

「1」→「2」→「5」→「4」→「5」

4 「再生」または「決定」を押す

指定した箇所から再生が始まります。

お知らせ
- 番号を設定前に戻す場合は、「シフト」を押しながら「クリア」を押してください。
- タイトル番号の記録されていないディスクでは、タイトル番号を指定することはできません。
- ディスクや箇所によっては、経過時間を使ってシーンを探せないことがあります。

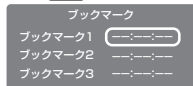
目印をつけて好きなシーンを再生する(ブックマーク機能)

次の「目印(ブックマーク)をつける」を行って、あらかじめブックマークを登録してから操作してください。

1 再生中に、「クイック」を押したあと[クイックメニュー]で[サーチ]を選び、「決定」を2回押す

ブックマーク画面が表示されます。

例：DVD-V

ブックマーク	
ブックマーク1	--:--:--
ブックマーク2	--:--:--
ブックマーク3	--:--:--

2 方向ボタン(▲/▼)を押して、[ブックマーク]の番号(1、2、3)を選び、「決定」を押す

選んだ箇所から再生が始まります。

■目印(ブックマーク)をつける

3箇所まで登録できます。

1 目印をつけたい箇所で、「**一時停止**」を押して、再生を一時停止させる

2 操作手順1(左記)を行って、画面に[ブックマーク]を表示させる

3 **方向ボタン**(▲/▼)を押して、[ブックマーク]の番号(1、2、3)を選ぶ

空いている番号([−−：−−：−−])を選びます。

取り消すときは、[クイックメニュー]を表示させて[サーチ]を選び、「決定」を押すとブックマーク画面が消えます。

すでに登録済みの番号は、「シフト」を押しながら「クリア」を押すと、設定内容が消えて[−−:−−:−−]の表示に変わります。

4 「**決定**」を押す

一時停止した箇所が、ブックマークとして登録されます。(ブックマークは、電源を切ったり、ディスクカバーをあけるなどをすると消えます。)

お知らせ
- ディスクや箇所によっては、ブックマークに登録できないことがあります。

順不同に再生する(ランダム再生)

DVD-V VCD CD

1 **再生中に、「クイック」を押したあと、[クイックメニュー]で[ランダム]を選び、「決定」を押す**

「決定」を押すたびに、[ランダムオフ]と[ランダム]が切り換わります。

操作しないと、画面の表示は数秒で消えます。

[ランダム]を表示させると、現在再生しているチャプターやトラックの再生が終わってから、ランダム再生が始まります。

■ 普通の再生に戻すには

[クイックメニュー]で[ランダム]を選び、[ランダムオフ]が表示されるまで、くり返し「**決定**」を押す

お知らせ

- ディスクによっては、ランダム再生できないものがあります。
- 以下の場合などは、ランダム再生は解除されます。
  －電源を切ったとき
  －ディスクカバーをあけたとき
- 「停止」を2回押すと、ランダム再生を解除して再生を終了します。

くり返し再生する(リピート再生)

DVD-V VCD CD

範囲を指定してくり返し再生する(A-Bリピート再生)

1 **「クイック」を押して[クイックメニュー]を表示させ、くり返し再生する範囲の始点(A)で、[A-Bリピート]を選び、「決定」を押す**

2 **くり返し再生する範囲の終点(B)で、もう一度「決定」を押す**

自動的にA点に戻り、指定した範囲(AB間)のくり返し再生が始まります。

クイックメニューが消えてしまったときは、「クイック」を押してもう一度[A-Bリピート]を選び、「決定」を押してください。

普通の再生に戻すには、[クイックメニュー]で[A-Bリピート]を選び、「決定」を押して表示を[リピートオフ]に変えます。

お知らせ

- 「停止」を押すと、A-Bリピート再生を解除して再生を終了します。
- 現在のタイトルまたはトラックの中だけで、A-Bの設定ができます。
- ディスクによって、くり返し再生したときの始点(A)の位置が変わることがあります。
- A-Bリピート再生中は、「停止」と「A-Bリピート」以外の操作はできない場合があります。

タイトル、チャプターまたはトラックをくり返す

1 再生中に、「クイック」を押したあと[クイックメニュー]で[リピート]を選び、「決定」を押す

「決定」を押すたびに、リピートモードが切り換わります。

操作しないと、画面の表示は数秒で消えます。

現在再生しているチャプターやトラックの再生が終わってから、リピート再生が始まります。

ディスク	リピートモード	くり返す対象
DVD-V	チャプターリピート	現在のチャプター
DVD-V	タイトルリピート	現在のタイトル
VCD CD	トラックリピート	現在のトラック
VCD CD	ディスクリピート	ディスク全体
DVD-V VCD CD	リピートオフ	普通の再生に戻ります。

お知らせ

- ディスクによっては、リピート再生できないものがあります。
- 以下の場合などは、リピート再生は解除されます。
  －電源を切ったとき
  －ディスクカバーをあけたとき
- 「停止」を２回押すと、リピート再生を解除して再生を終了します。

好きな順番で再生する(メモリー再生)

DVD-V VCD CD

1 停止中に、[クイックメニュー]で[メモリー]を選び、「**決定**」を押す

設定画面が表示されます。

例：DVD-V

ビデオCDは、トラック番号の入力になります。

2 再生する順番にタイトルとチャプター／トラックを設定する

1) **方向ボタン**(▲/▼)でT(タイトル)欄の[－－－]を選び、番号ボタンでタイトル番号を入力する

2) **方向ボタン**(▶)でC(チャプター)欄の[－－－]を選び、番号ボタンでチャプター番号を入力する
チャプター番号を入力せずにカーソルを移動させると、1)で入力したタイトル番号は[－－－]に戻ります。

3) 1)～2)をくり返して、再生する順番を設定する

- ディスクに存在しないタイトル番号やチャプター／トラック番号を入力しても、[－－－]に戻り、入力は受けつけられません。

3 方向ボタン(▶)を押して、[▶再生]を選び、「**決定**」を押す

設定した順にメモリー再生が始まります。

■ 設定内容を取り消すには

- 方向ボタンで、取り消すタイトル番号またはチャプター／トラック番号を選び、「**シフト**」を押しながら「**クリア**」を押すと、[－－－]に戻り、取り消されます。
- 画面上で[クリア]を選び、「**決定**」を押すと、設定したすべてのメモリー内容が取り消されます。

■ メモリー再生を中止するには

「**停止**」を2回押す

(メモリー内容は消去されます。)

お知らせ

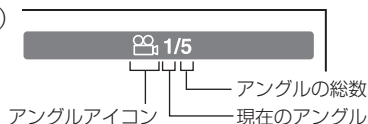
- ディスクによっては、メモリー再生できないものがあります。
- 以下の場合などは、メモリー再生は解除されます。
  －ディスクメニューを表示させたとき
  －電源を切ったとき
  －ディスクカバーをあけたとき
- メモリー再生中に、メモリー再生の設定画面を表示させると、メモリー再生が一時停止します。

アングル(場面の角度)を切り換える

DVD-V VCD CD

1 マルチアングルで記録されている部分の再生中に「クイック」を押したあと、[クイックメニュー] で [アングル] を選び、「**決定**」を押す

画面にアングルアイコン [ ] が表示されます。

例)

タイトルごとに表示されます。マルチアングル記録部分が含まれていないディスクでは表示しません。

マルチアングルで記録されていないディスクやシーンではアングルの切換えはできません。

2 「**決定**」を押して、アングルを選ぶ

押すたびに、アングルが切り換わります。

お知らせ

- アングルを選んでから、実際に映像のアングルが切り換わるまでには、少し時間がかかります。
- アングルを選んだ直後に一時停止させたときは、映像のアングルが切り換わらないことがあります。

字幕の言語を切り換える

DVD-V VCD CD

1 再生中に、「**字幕切換**」を押す

現在の字幕設定が表示されます。

2 字幕設定の表示中に、「**字幕切換**」を押す

押すたびに、表示される字幕言語が切り換わります。

お知らせ

- 字幕が記録されていないディスクもあります。
- ディスクに記録されていない字幕言語を選んだときは、ディスクで決められている言語で再生します。
- 再生している場面によっては、字幕言語を切り換えても、すぐには切り換えた言語の字幕が表示されないことがあります。

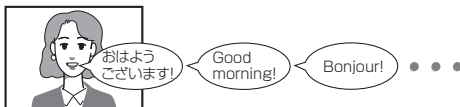
■ 字幕の表示と非表示を切り換えるには

再生中に、画面に[オフ] が表示されるまで、「**字幕切換**」をくり返し押す

お知らせ

- ディスクによっては、字幕が自動的に表示されるように設定されているものがあります。また、字幕機能をオフに設定しても、非表示にできない場合があります。
- ディスクによっては、字幕の言語や表示、非表示の切換えをディスクメニューを使って選ぶ場合があります。

音声を切り換える

DVD-V VCD CD

1 再生中に、「**音声切換**」を押す

現在の音声設定が表示されます。

例）

2 音声設定の表示中に、「**音声切換**」を押す

押すたびに、ディスクに記録されている音声が切り換わります。

- 複数の音声が記録されていないディスクもあります。そのときは、音声の切換えはできません。

■ ビデオCDの音声チャンネルを切り換えるには

再生中に、「**音声切換**」を押して、音声チャンネルを選ぶ

お知らせ

- ディスクによっては、音声の切換えをディスクメニューを使って行う場合があります。このときは、「メニュー」を押してディスクメニューを表示させてから音声を選んでください。
- ディスクに記録されていない音声を選んだときは、ディスクで決められている音声を再生します。

ディスクの再生

広がりのある音にする

DVD-V VCD CD

1 「クイック」を押したあと、[クイックメニュー]で[音場効果]を選び、「決定」を押す

現在の設定が表示されます。

2 「決定」をくり返し押す

- [3Dオフ]
  通常の音声です。
- [3Dオン]
  本機のスピーカー、ヘッドホーンや、2本のスピーカーに外部出力した場合でも、広がりと奥行き感のある音場効果が得られます。

お知らせ

- 実際の音場効果は、音響設備やディスクによって異なります。

操作状況や情報を表示させる

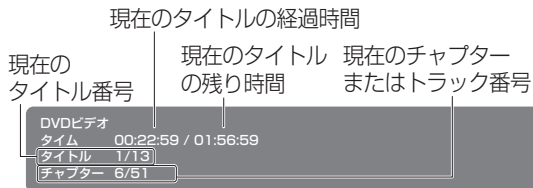
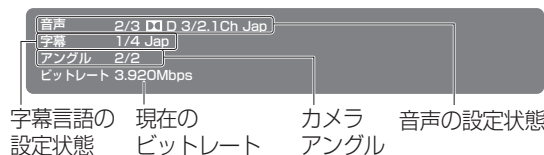
DVD-V VCD CD

1 再生中に、「**シフト**」を押しながら「**表示**」を押す

現在の操作状況や情報が表示されます。

例：DVD-V

現在のタイトルの経過時間
現在のタイトル番号
現在のタイトルの残り時間
現在のチャプターまたはトラック番号

DVDビデオ
タイム　00:22:59 / 01:56:59
タイトル　1/13
チャプター　6/51

もう一度「**シフト**」を押しながら「**表示**」を押すと表示内容が変わります。

さらにもう一度「**シフト**」を押しながら「**表示**」を押すと、画面表示が消えます。

音楽／動画・画像ファイルを再生する

音楽用CD、音声ファイル(MP3/WMA)、動画ファイル(DivX®)、画像ファイル(JPEG)の再生ができます。

■MP3/WMAまたはDivX®ファイルの再生対応条件

対応メディア	CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW、SDカード
サンプリング周波数	32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
ビットレート	WMA：48 kbps ～192 kbps(CBR) MP3：32 kbps ～ 320kbps(CBR) DivX：8 Mbps以下
フォーマット	MODE 1
ファイルシステム	MP3：ISO9660レベル、UDF without interleave DivX：ISO14496
ファイル名	8文字以下で、拡張子「MP3」、「WMA」、「avi」または「divx」が付け加えられていること。 (例「○○○○○○○○.MP3」、 「○○○○○○○○.WMA」、 「○○○○○○○○.avi」、 「○○○○○○○○.divx」) “?!><+*}{`[@]:;\ /.,”など、特殊な文字が使われていないこと。英数字のみで構成されていること。
ファイルの総数	650以下
WMAコーデック方式版	V2、V7、V8、V9(ステレオサウンドのみ)
DivXコーデック方式版	3、4、5、6(再生できるDivX®ファイル(Ver.6含む))通常再生にのみ対応しています。
DivX解像度	720×576(同等またはそれ以下)

■JPEGファイルの再生対応条件

対応メディア	CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW、SDカード
ファイルシステム	ISO9660、UDF without interleave
ファイル名	8文字以下で、拡張子「JPG」が付け加えられていること。(例「○○○○○○○○.JPG」) “?!><+*}{`[@]:;\ /.,”など、特殊な文字が使われていないこと。英数字のみで構成されていること。
ファイルの総数	650以下
ファイルサイズ	10Mバイト以下
フォーマット	BASELINE、PROGRESSIVE
解像度	Baseline JPEG:最大5760×4320 Progressive JPEG:最大5760×4320

MPEG Layer-3オーディオ・コーディング技術は、フランフォーファーIISおよびトムソンのライセンスによるものです。

Windows Media™、及びWindows® ロゴは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

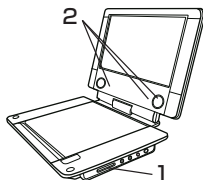
DivX®、DivX Certified®、およびこれらの関連ロゴは、DivX, Inc.の登録商標であり、ライセンス許諾に基づき使用しています。
次の1つ以上の米国特許により保護されています：
7,295,673; 7,460,668; 7,515,710; 7,519,274

お知らせ

• 対応または動作確認済みのメディアやファイルでも、状態や状況によっては動作しない場合があります。

SDカードを再生するとき

1 再生するSDカードをカードスロットに入れる

2 38 ページの手順で、[**SDカード**]を選ぶ

入れかた
「カチッ」と音がするまで差し込みます

取り出しかた
カードの中央を押し、ゆっくりとまっすぐ引き出します

お知らせ
・SDカードの読み出し中はSDカードを取り出さないでください。記録されているデータが破壊されるおそれがあります。

1 再生するメディアを入れる

メニューが表示されます。

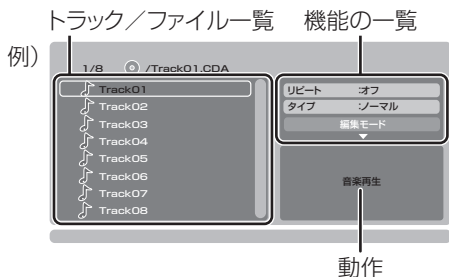
トラック／ファイル一覧　機能の一覧

例）

1/8　/Track01.CDA
Track01
Track02
Track03
Track04
Track05
Track06
Track07
Track08

リピート　:オフ
タイプ　:ノーマル
編集モード

音楽再生

動作

2 再生するトラック／ファイルを**方向ボタン**（▲/▼）で選び、「**決定**」または「**再生**」を押す

再生が始まります。

JPEGファイルの場合は、１画像ずつ順に再生（スライドショー）します。

3 再生を止めるには「**停止**」を押す

■再生するファイルの種類を選択する

たとえば、１枚のディスクの中に数種類のファイルが記録されているとき、以下の手順で再生するファイルの種類を指定します。

1 **方向ボタンで、機能の一覧から［フィルター］を選び、「決定」を押す**

ファイルの種類が表示されます。

チェックマーク［ ✓ ］は選択中を示します。

例）

✓ 音声 ── MP3／WMAファイルを指定
✓ 写真 ── JPEGファイルを指定
✓ 映像 ── DivXファイルを指定

2 **ファイルの種類を方向ボタン（▲/▼）で選び、「決定」を押して、チェックマーク［ ✓ ］のつけはずしをする**

3 **選び終わったら方向ボタン（◀）を押して、トラック／ファイル一覧に戻る**

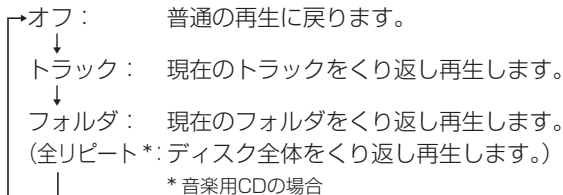
お知らせ
• 市販の音楽用CDのときは、ファイルの指定はできません。

■ リピート再生をする

再生中に、**方向ボタン**で機能の一覧から［リピート］を選び、「**決定**」を押す

「**決定**」を押すたびに、リピートモードが切り換わります。

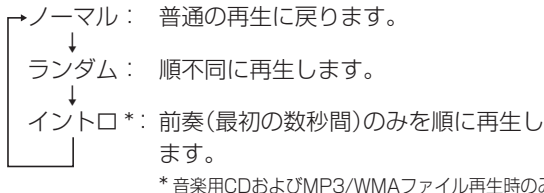
オフ：　普通の再生に戻ります。
↓
トラック：　現在のトラックをくり返し再生します。
↓
フォルダ：　現在のフォルダをくり返し再生します。
（全リピート *：ディスク全体をくり返し再生します。）

* 音楽用CDの場合

■ ランダム／イントロ再生をする

再生中に**方向ボタン**で［タイプ］を選び、「**決定**」を押す

「**決定**」を押すたびに、タイプが切り換わります。

ノーマル：　普通の再生に戻ります。
↓
ランダム：　順不同に再生します。
↓
イントロ *：　前奏（最初の数秒間）のみを順に再生します。

* 音楽用CDおよびMP3/WMAファイル再生時のみ

お知らせ
- メディアによっては再生できないものがあります。
- スキップなど、一部リモコンで操作できる機能もあります。

音声ファイルの再生についてのお知らせ
- 著作権保護されているWMAトラックは、再生できません。

■ 画像を回転させる（JPEGファイル）

再生中に**方向ボタン**（◀／▶）を押す

押したボタンの方向に画像が回転します。

お知らせ
- 方向ボタンを押してから画像が回転するまで、多少時間がかかります。

■ 好きな順番で再生する（プログラム再生）

再生するトラック／ファイルを選んで、好きな順番で再生できます。

1 **方向ボタン**で、機能の一覧から［編集モード］を選び、「**決定**」を押す

2 **方向ボタン**（◀）で、トラック／ファイル一覧へカーソルを移動させる

3 **方向ボタン**（▲／▼）で、プログラム再生するトラック／ファイルを選び、「**決定**」を押す

選んだトラック／ファイルにチェックマーク［ ✓ ］がつきます。
再生する順に、チェックマークをつけていきます。

4 **方向ボタン**で、機能の一覧から［プログラム入力］を選び、「**決定**」を押す

チェックマークが消え、選んだトラック／ファイルが本体に記憶されます。

5 **方向ボタン**で［プログラム表示］を選び、「**決定**」を押す

プログラムの一覧が表示されます。

6 「**再生**」を押す

一覧の順に再生が始まります。

- **トラック／ファイル一覧の表示に戻るには**

機能の一覧から［ファイル表示］を選び、「**決定**」を押す

- **プログラムしたトラック／ファイルを取り消すには**

1）［編集モード］を選んだ状態で、「**停止**」を２回押して、再生を停止させる

2）**方向ボタン**（◀）で、プログラムの一覧へカーソルを移動させる

3）取り消すトラック／ファイルを選び、「**決定**」を押す

選んだトラック／ファイルにチェックマーク［ ✓ ］がつきます。

4）**方向ボタン**で、機能の一覧から［クリア］を選び、「**決定**」を押す

選んだトラック／ファイルが、プログラムの一覧から消えます。

お知らせ
- メディアによっては機能しないものがあります。
- 本機の電源を切ると、プログラム再生は解除されます。

■ DIVXビデオについて

DivX®は、DivX, Inc.が開発したデジタルビデオフォーマットです。本製品は、DivXビデオの再生に対応した正規のDivX Certified®(DivX認証)デバイスです。詳細情報およびビデオファイルをDivX形式に変換するためのソフトウェアについては、divx.comをご覧ください。

■ DIVXビデオオンデマンドについて

DivXビデオオンデマンド(VOD)コンテンツを再生するには、このDivX Certified®(DivX認証)デバイスを登録する必要があります。登録コードは、セットアップ項目の「DivXレジストレーション」で確認できます。詳細情報と登録方法については、vod.divx.comをご覧ください。

機能設定

お使いの条件やお好みに合わせて設定を変えられます。

初期設定の変更と機能の設定

DVD-V VCD CD

本機では、さまざまな機能があらかじめ初期設定されています。お使いの条件やお好みに合わせて設定を変えられます。

[**TV**] モードの機能の設定については、「テレビを見る」の章をご覧ください。

1 38 ページの手順で、[DVD/CD] モードに切り換える

2 停止中に、「クイック」を押したあと[クイックメニュー] から [セットアップ] を選び、「**決定**」を押す

機能設定画面が表示されます。

3 設定項目(下表)のアイコンを、**方向ボタン**(▲/▼)で選び、**方向ボタン**(▶)を押す

4 設定項目を、**方向ボタン**(▲/▼)で選び、「**決定**」を押す

5 80 ページ以降の説明を参照して、項目の内容を、**方向ボタン**(▲/▼)などで設定し、「**決定**」を押す

他の項目を設定するときは、方向ボタン(◀)を押してから、手順2～4をくり返します。

6 [クイックメニュー] から [セットアップ] を選び、「**決定**」を押す

設定画面が消え、設定は終わりです。

アイコン	設定項目	対応ディスク	設定内容
言語設定	画面表示言語	DVD-V VCD CD	画面表示に使う言語を選びます。
	字幕言語	DVD-V	各国語で記録されている字幕のうち、どの言語を優先して表示するかを設定します。
	音声言語	DVD-V	各国語で記録されている音声のうち、どの言語を優先して再生するかを設定します。
	ディスクメニュー言語	DVD-V	各国語で記録されているディスクメニューを、どの言語を優先して表示するかを設定します。

映像	TV画面形状	**DVD-V** **VCD** CD	本機の映像をテレビに接続してご覧になるとき、出力信号の画面形状を、テレビの形状に合わせて設定します。
	映像モード	**DVD-V** **VCD** CD	表示される映像のサイズをお好みで設定します。
音声	E.A.M.	**DVD-V** **VCD** **CD**	音場効果を選びます。（E.A.M. = Enhanced Audio Mode）
	D.R.C.	**DVD-V** VCD CD	夜間など、音量を下げて再生するときに、小さい音までよく聞こえるようにする機能を設定します。（D.R.C. = Dynamic Range Control）
レベル設定	パレンタルロック	**DVD-V** VCD CD	パレンタルロック機能の内容を設定します。
	PBC	DVD-V **VCD** CD	ビデオCD（PBC付き）のメニュー画面で再生をするかどうかを設定します。
	スクリーン・セーバー	**DVD-V** VCD CD	スクリーン・セーバー（焼付き防止機能）を働かせるかどうかを設定します。
出荷時設定	出荷時設定	—	これらの設定を工場出荷時の状態に戻します。
	DivXレジストレーション	—	DivXに関するお知らせが表示されます。

■ 言語設定

画面表示言語 DVD-V VCD CD

日本語：
日本語で画面表示します。
English：
英語で画面表示します。

字幕言語 DVD-V VCD CD

日本語：
日本語で字幕を表示します。
英語：
英語で字幕を表示します。
オフ：
字幕を表示しません。

お知らせ
- ディスクによっては、ディスクで決められている言語で字幕が表示されることがあります。
- ディスクによっては、字幕の言語はディスクメニューを使って選ぶようになっている場合があります。このときは、「メニュー」を押してディスクメニューを表示させてから字幕の言語を選んでください。

音声言語 DVD-V VCD CD

日本語：
日本語で音声を再生します。
英語：
英語で音声を再生します。

お知らせ
- ディスクによっては、ディスクで決められている音声になります。

ディスクメニュー言語 DVD-V VCD CD

日本語：
日本語でディスクメニューを表示します。
英語：
英語でディスクメニューを表示します。

お知らせ
- ディスクによっては、設定した言語のディスクメニューが記録されていないことがあります。この場合、ディスクメニューはディスクで初期設定されている言語で表示されます。

■ 映像

TV画面形状 DVD-V VCD CD

4:3：

従来の4:3テレビを本機に接続しているとき。

16:9：

16:9ワイドテレビを本機に接続しているとき。

お知らせ

- DVDビデオディスクには、再生できる画面形状があらかじめ設定されています。ディスクによっては、この設定の画面形状どおりに再生されないことがあります。
- 4:3の画面形状だけで記録されたDVDビデオディスクは、この設定にかかわらず4:3の画面形状で再生されます。
- 4:3のテレビを本機に接続した状態で「16:9」を選ぶと、ワイド映像が上下に伸びて表示されます。お使いのテレビに合わせて設定してください。

映像モード DVD-V VCD CD

フルサイズ：

画像はカットされず、上下左右を伸ばしてフル画面で表示します。

オリジナル：

ディスクに記録されているもとの画像サイズで表示します。

自動：

自動的に縦横比を合わせて表示します。上下左右に黒い帯がでます。

ワイド：

画像の上下または左右をカットして、フル画面で表示します。

お知らせ

- この設定の内容は、ディスクの記録の状態や接続しているテレビによっても異なる場合がありますので、お好みに合わせて設定してください。

■ 音声

E.A.M. (Enhanced Audio Mode)　DVD-V　VCD　CD

ノーマル：
普通の音声です。
3D：
本機のスピーカーや、２本のスピーカーに外部出力した場合でも、広がりと奥行き感のある音場効果になります。

お知らせ
- ［クイックメニュー］の［音場効果］でも、同じ設定ができます。

D.R.C. (Dynamic Range Control)　DVD-V　VCD　CD

オン：
ダイナミックレンジ機能が働きます。
オフ：
ダイナミックレンジ機能が働きません。

お知らせ
- ドルビーデジタルで記録されたディスクのときだけ、この機能が働きます。
- この機能の効果レベルは、ディスクによって変わることがあります。

■ レベル設定

パレンタルロック　DVD-V　VCD　CD

パレンタルロックに対応したDVDビデオディスクには、あらかじめ規制レベルが設定されています。規制レベルの内容および規制方法はディスクによって異なります。たとえばディスク全体が再生できない場合のほか、過激な暴力シーンをカットしたり、別のシーンに自動的に差し換えて再生されます。ディスクによっては、パレンタルロックに対応しているかどうかの区別がつきにくいものがあります。必ず、設定したパレンタルロックの機能が働くことを確認してください。

■パスワードを設定する

はじめに、パレンタルロックの設定に使用する暗証番号を設定します。また、以下の手順で暗証番号を変更できます。

1 **方向ボタン**で［パスワード］を選び、「**決定**」を押す
2 **番号ボタン**を押して５けたの暗証番号（はじめてお使いになるときは「99999」）を入力し、「**決定**」を押す

機能設定

3 [パスワード] を選んだまま「**決定**」を押す

新しい暗証番号の入力画面が表示されます。

4 **番号ボタン**で新しい5けたの暗証番号を入力し、「**決定**」を押す

5 もう一度、手順4で入力した暗証番号を入力し、「**決定**」を押す

新しい暗証番号が設定されます。

お知らせ

• 設定した暗証番号を忘れてしまった場合、手順2で「99999」を入力すると、暗証番号を解除することができます。

■パレンタルロックの規制レベルを設定する

1 **方向ボタン**で [パレンタルロック] を選び、「**決定**」を押す

パスワード画面が表示されます。

2 **番号ボタン**を押して、設定した5けたの暗証番号を入力し、「**決定**」を押す

レベルを設定できる状態になります。

3 [パレンタルロック] を選んだまま「**決定**」を押す

4 **方向ボタン**(▲/▼)でパレンタルロックの規制レベルを選び、「**決定**」を押す

パレンタルロックの規制レベルが設定されます。
選んだ規制レベルより上のレベルのディスクは、パレンタルロックの設定レベルを再生できるレベルに変更しないと再生できなくなります。たとえば、レベル7を設定すると、レベル8以上は、ロックされ再生できなくなります。
アメリカの規制レベルは、次のように対応しています。

8 : Adult　7 : NC-17　6 : R
5 : PG-R　4 : PG-13　3 : PG
2 : G　1 : Kid Safe

レベルは、将来のために用意されたものです。適切な設定レベルは、実際にパレンタルロックに対応したDVDビデオディスクをお買い上げになられたときに、お客様ご自身で動作させてご確認ください。

■パレンタルロックの規制レベルを変えるには

「パレンタルロックの規制レベルを設定する」の手順を行い、規制レベルを変更してください。

PBC DVD-V VCD CD

オン：
ビデオCD（PBC付き）のメニュー画面を使って再生するとき。

オフ：
ビデオCD（PBC付き）のメニュー画面を使わず、普通の再生をするとき。

スクリーン・セーバー DVD-V VCD CD

オン：
スクリーン・セーバーが働きます。

オフ：
スクリーン・セーバーは働きません。

■ 出荷時設定

出荷時設定

いいえ：
現在の設定のままで選択を終了します。

はい：
設定を出荷時の状態に戻します。

お知らせ
- ［**TV**］モードの設定には影響しません。［**TV**］モードの設定を出荷時の状態に戻すには、53ページの手順で「テレビの設定初期化」を行ってください。

DivX レジストレーション

DivXに関するお知らせが表示されます。
（76ページの説明もご覧ください。）

表示中に「**決定**」を押すと、「出荷時設定」の画面に戻ります。

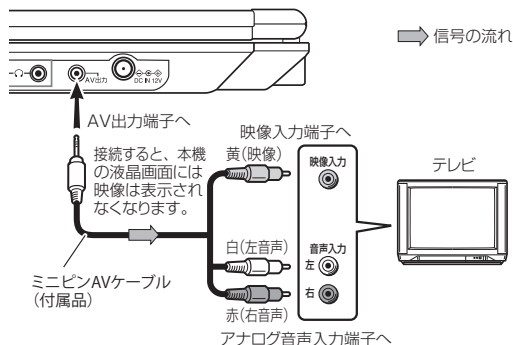
接続

他の機器と接続することで、映像や音声がさらに楽しめます。

テレビの画面で見る

本機をテレビに接続して、本機の再生映像をテレビの画面で見られます。（［**TV**］モード時の映像は出力されません。）

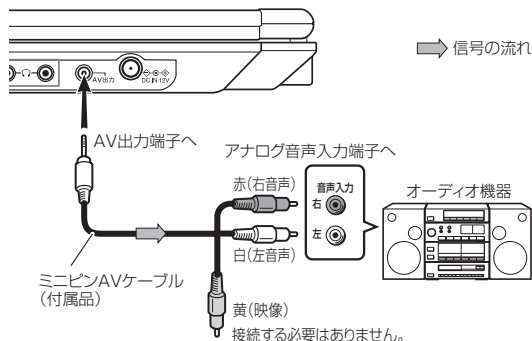
1 38 ページの手順で目的のモードに切り換える

2 テレビを本機のAV出力端子に接続する

お知らせ

- 接続するテレビの取扱説明書もよくお読みください。
- 接続するときは、必ず本体およびテレビの電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
- 本機とテレビは、直接接続してください。たとえば、本機からの映像をビデオデッキ、ビデオ内蔵テレビ、セレクターなどを通してご覧になると、コピー防止の働きによって正常な映像にならないことがあります。
- 接続したテレビで本機の再生映像を見ているときに機能設定画面（78 ページ）を表示させるには、「クイック」を押してください。
- AV出力端子に接続している間は、モードの切り換えができません。

アナログ音声入力端子つきオーディオ機器と接続する

1 38 ページの手順で目的のモードに切り換える

2 オーディオ機器を、本機のAV出力端子に接続する

お願い

- 他の機器を接続するときは、必ず本機および接続する機器の電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜いて行ってください。
- 本機のACアダプターを抜き差しするときは、必ずステレオアンプの電源スイッチを切っておいてください。電源を入れたままにしておくと、スピーカーを傷めるおそれがあります。
- 本機からの音声出力時は、突然の大音量によってスピーカーを破損することのないように、音量を確認しながら調節してください。

お知らせ

- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- チューナーやラジオの近くに本機を置くと、AM放送に雑音がはいることがあります。このような場合は、チューナーやラジオとの距離を離してください。
- AV出力端子に接続している間は、モードの切り換えができません。

カーアダプターを使う

付属品のカーアダプターを使えば、自動車のシガーライターソケットから電源を供給できますので、車内での使用時に便利です。

⚠注意

- **24V車や12Vプラスアース車では絶対使用しない**
  カーアダプターはDC12Vマイナスアース車専用です。これを守らないと、火災の原因となります。カーアダプターを使用するときは、必ず車の取扱説明書をよくお読みください。
- **カーアダプターを使用するときは、必ず専用のバッテリーパックをDVDプレーヤー本体から取りはずす**
  バッテリーパックの充電は、電源コンセントからの充電だけです。カーアダプターを使っての充電は、発煙、火災、感電、故障の原因になったり、カーバッテリーの消耗につながりますので、絶対に行わないでください。

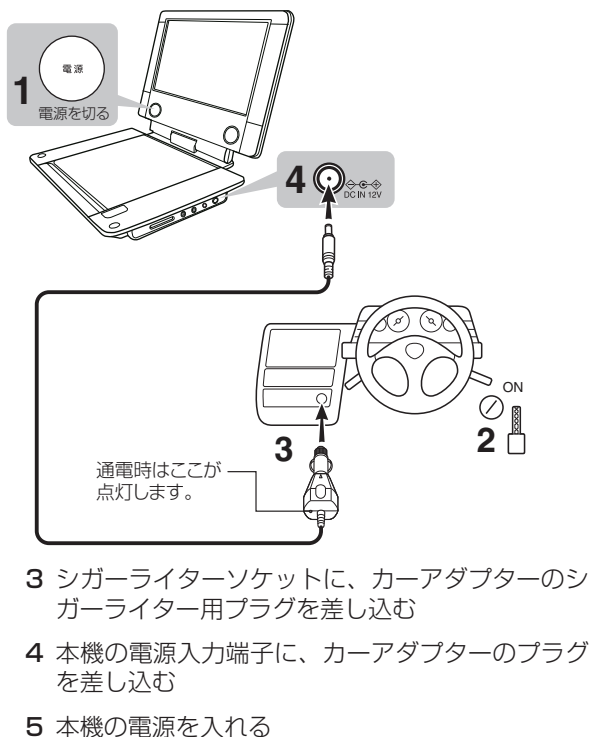
1 本機の電源が切れていることを確認し、専用バッテリーパックをはずす

2 車のエンジンをかけて、シガーライターソケットに通電させる

   車種によってはエンジンをかけなくても通電する場合があります。車の取扱説明書をご覧ください。

3 シガーライターソケットに、カーアダプターのシガーライター用プラグを差し込む

4 本機の電源入力端子に、カーアダプターのプラグを差し込む

5 本機の電源を入れる

6 はずすときはまず本機の電源を切ってから、次にカーアダプターのプラグを本機の電源入力端子から抜き、最後にシガーライターソケットからカーアダプターのプラグを抜く

7 エンジンを止めたり、車を離れたりするときは、必ず本機の電源を切ってから、カーアダプターのプラグを電源入力端子から抜く

お知らせ

- 車のエンジンをかけるときは、カーアダプターをシガーライターソケットから抜いてください。誤動作の原因になります。
- 車のシガーライターソケットが灰などでよごれているときは、必ず清掃してから使用してください。よごれたままで使用していると、プラグ部分に熱を持ち発熱や故障の原因になります。
- 人のいない車内など、高温になる場所にカーアダプターを放置しないでください。
- 車のエンジンを切るときは、まず本機の電源を切ってから、カーアダプターをシガーライターソケットから抜いてください。電源が入ったままエンジンを切ると故障の原因になります。
- 使用したあとは、シガーライターソケットとプレーヤー本体からカーアダプターを抜いてください。
- 車種によっては、カーアダプターのプラグがシガーライターソケットに合わない場合があります。無理に取り付けたりしないでください。
- カーアダプターに強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。損傷した場合は、使用しないでください。
- シガーライターソケットから抜くときは、コードを引っ張らず、必ずカーアダプター本体を持って抜いてください。
- 車のエンジンを切ったまま、カーアダプターを使って本機を使用しないでください。車のバッテリーの消耗の原因となります。
- 車種やシガーライターの位置によっては、カーアダプターが取り付けられない場合があります。
- シガーライターソケットや分配器をご自分で増設して使用しないでください。
  本機および周辺機器の故障・発火の原因になります。
- カーラジオなどに雑音が発生する場合には、カーアダプターをシガーライターソケットから抜いてみてください。
- 再生映像が乱れる場合には、本機をカーアダプターから離してみてください。

■仕様

動作温度：5～35℃

動作湿度：30～80%

保管温度：-10～50℃

保管湿度：20～80%

キャリングケースを使う

ポータブルDVDプレーヤーの持ち運びなどのために、専用のケースが付属されています。

■ 持ち運びに使う

プレーヤー本体や必要な付属品を中に入れ、ファスナーをしっかり閉めて、取っ手をにぎって持ち運びます。

■ 乗用車の座席に取り付ける

後部座席で本機を使いたいときに、前の座席の背面に固定できて便利です。

1 付属のベルトA、Bをキャリングケースに取り付ける

ベルトA（細）

①ケースをあけ、ふたの裏側に矢印のようにひと回りさせて通す

②ベルトの端をケースのフックに通して留める
反対側も同様に。

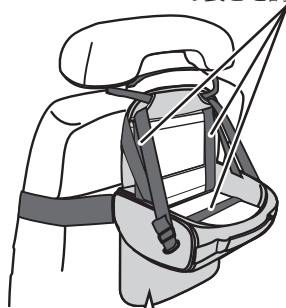
ベルトB（太）

キャリングケース底面に通す

2 ベルトA、Bを座席に取り付ける

ベルトの長さは、座席に合わせて調節してください。

接続

3 座席に取り付けたキャリングケースに、本体を入れて固定する

お知らせ

- キャリングケースには、プレーヤー本体と付属品以外のものは入れないでください。
- キャリングケースの座席への取り付け・取りはずしのときは、中身はケースから出してください。
- 走行中は車のシートから取りはずしてください。急停車などのときにぶつかって、けがの原因となります。
- 人のいない車内など、高温になる場所に、本機を入れたキャリングケースを放置しないでください。
- 車種によっては、キャリングケースが座席に取り付けられない場合があります。無理な取り付けはしないでください。
- キャリングケースのベルトやファスナーなどを強く引っ張ったりしないでください。破損の原因となります。

その他

お使いになるうえで役立つ情報です。

- 故障かな…？と思ったときは
- 仕様

故障かな…？と思ったときは

アフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。

	症状	原因	処置
電源・バッテリー	電源がはいらない。	• ACアダプターが抜けている。	• ACアダプターをしっかりと差し込む。
		• バッテリーパックがはずれている。	• バッテリーパックを取り付ける。
		• バッテリーパックが充電されていない。	• バッテリーパックを充電する。
	液晶画面が自動的に消えた。	• オートパワーオフ機能が働いた。	• 電源を入れ直す。
	バッテリーが充電できない。	• バッテリーの状態が満充電に近い。	• バッテリーの残量を減らしてから充電する。
テレビ	放送が受信できない。	• miniB-CASカードが正しく挿入されていない。	• miniB-CASカードを正しい向きに入れる。
		• アンテナが正しく接続されていない。	• アンテナを正しく接続する。
		• チャンネルをスキャンしていない。	• チャンネルスキャンをする。
		• お住まいの地域が地上デジタル放送の受信可能エリアではない。	• 地上デジタル放送が行われているかを最寄りの放送局にお問い合わせください。以下のホームページのリンク先で確認することもできます。http://www.toshiba.co.jp/regza/naruhodo/
		• 共聴システムを使用していて、共聴システムが地上デジタル放送(パススルー方式)になっていない。	• CATVの場合はご契約のCATV会社に、その他の場合は共聴システムの管理者にお問い合わせください。(CATVがパススルー方式でない場合はCATV用チューナが必要な場合があります。)
	一部の放送が受信できない。	• 地上デジタル放送が行われていない。	• 地上デジタル放送が行われているかを最寄りの放送局にお問い合わせください。
	受信できなくなった放送局が番組表などから消えない。	—	• チャンネルスキャンをする。
	字幕が表示されない、または二重音声などが機能しない。	• 視聴している番組が字幕表示、二重音声などに対応していない。	• 対応していない番組の場合は、字幕設定、音声設定は機能しません。

	症状	原因	処置
テレビ	番組表が表示されない／ところどころ抜けている。	• 番組表情報が取得できていない。	• 番組表メニューから[番組表取得]を行う。
			• 電源を切って待機状態にして約1時間放置してください。（待機状態になったと同時に、番組表情報の取得を開始します。）ただし、電波や、放送局および本機の状態によっては、情報取得が完了しない場合もあります。このときは、時間帯を変えて再度試してみてください。
	映像が乱れる・止まる。	• アンテナの向きがずれている、アンテナ線がはずれたり、切れたりしている。	• アンテナの向き、アンテナ線の接続に問題がないか確認する。
	画面にはん点が出る。	• 自動車、オートバイ、電車、高圧線、ネオンサイン、クリーナー、ヘアードライヤーなどからの妨害が考えられます。	• アンテナ線の位置を原因妨害源（道路など）から離れた位置に移動する。
	画面に縞模様がでる。	• 近くのテレビやパソコン、テレビゲーム、ビデオ、オーディオ機器、DVD機器、携帯電話などや無線局などからの電波の混信が考えられます。	• アンテナ線は他の機器の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離す。
	音声が出ない。	• ボリュームが小さすぎる。	• 音量ボタンで調節する。
	電源を入れたときやチャンネルを切り換えたときに、すぐに映像が表示されない。	• 受信した信号を画面に表示するための処理を行っており、チャンネルの切り換えに数秒かかります。	—
再生	ディスク再生中、画像や音声が乱れることがある。	• ディスクがよごれている。	• ディスクを取り出し、きれいにする。
		• 早送り、早戻しをした。	• 画像が多少乱れることがありますが、故障ではありません。
		• 再生中に衝撃を与えた、または移動した。	• 画像や音声が乱れることがありますが、故障ではありません。正常な画像や音声に戻らないときは、一度停止させたあと、もう一度再生してください。
	再生が始まらない。	• 本機のモードを[**DVD/CD**]以外に設定している。	• 「入力切換」を押して、モードの一覧から[**DVD/CD**]を選ぶ。
		• ディスクがはいっていない。	• ディスクを入れる。
		• 本機で再生できないディスクがはいっている。	• 再生できるディスクの種類、テレビ方式やリージョン番号を確認する。
		• ディスクを正しく入れていない。	• ディスクを正しく入れる。
		• ディスクがよごれている。	• ディスクをきれいにする。

	症状	原因	処置
再生	再生が始まらない。	• パレンタルロックが設定されている。	• パレンタルロックの規制レベルを変更する。
	ディスクで決められたとおりの再生ができない。	• リピート再生、ランダム再生、メモリー再生などをしている。	• これらの再生のあいだは、ディスクで決められたとおりの再生ができないことがあります。
他の機器との接続	画像が出ない。	• AV出力端子にミニピンAVケーブルが接続されている。	• 本機の液晶画面で見るときは、AV出力端子からミニピンAVケーブルを抜く。
	画像が出ない。（本機の液晶画面以外で）	• 接続しているテレビの入力切換が正しくない。	• テレビの入力切換を、本機からの画像が映るように切り換える。
	音声が出ない。	• ミニピンAVケーブルで接続している機器の入力切換が正しくない。	• ミニピンAVケーブルを接続している機器の入力切換を、本機からの音声が入力されるように切り換える。
		• ミニピンAVケーブルで接続している機器の電源がはいっていない。	• ミニピンAVケーブルで接続している機器の電源を入れる。
	接続しているテレビの画像が明るくなったり暗くなったり、ノイズが出たりする。（本機の液晶画面以外で）	• コピー防止機能が働いている。例えば、本機からの映像をビデオデッキ、ビデオ内蔵テレビ、セレクター、AVアンプなどを通してテレビでご覧になると、コピー防止の機能によって正常な映像にならないことがあります。	• 本機とテレビを直接接続する。
リモコン	操作ボタンを押しても動作しない。	• 静電気やノイズなどの影響で本機が動作しなくなっている。	• 電源を入り切りしてみる。または、電源プラグを抜き、もう一度差し込む。
	リモコンが動かない。	• リモコンが受光部に向いていない。	• リモコンの送信部を本機の受光部に向けて操作する。
		• リモコンと受光部の間が遠すぎる。	• 約3m以内のところで操作する。
		• リモコンの電池が消耗している。	• 電池を交換する。
		• 本体のリモコン受光部に直射日光など強い光が当たっている。	• 本体を直射日光などを避けるような場所に置く。

仕様

■ 本体部

電源
入力端子DC12V（定格電流：1.5A（最大：バッテリーパック充電時））
AC100V 50/60Hz（付属のACアダプター使用時）

本体質量
1.1kg

外形寸法
幅260×高さ35×奥行191mm（突起部含む）
幅260×高さ34×奥行191mm（突起部含まず）

信号方式
日米標準NTSCカラーテレビジョン方式

使用レーザー
半導体レーザー　波長650nm/795nm

使用条件
温度：5℃～35℃
動作姿勢：水平

受信チャンネル
地上デジタル放送 VHF（1 ～ 12)、UHF（13 ～ 62）
CATV（C13 ～ C63）CATV パススルー対応

■ 本体端子部

映像・音声出力（AV出力）
1.0V(p-p)、75Ω、同期負、
AV出力小型端子（∅3.5mm）×1

ヘッドホーン端子
ステレオミニジャック（∅3.5mm）×2

外部アンテナ入力
アンテナコネクタ×1

■ 液晶画面部

画面サイズ
9V型ワイド

表示方式
透過型TN形カラー

駆動方式
アモルファスシリコンTFT（薄型トランジスタ）アクティブマトリクス駆動方式

画素数
横800×縦480ピクセル（有効画素率99.99%以上）

■付属品

ミニピンAVケーブル …1本
ワイヤレスリモコン(SE-R0400) …1個
コイン型電池（CR2025）…1個
ACアダプター （EADP-18SBまたはHDAD-120015-3H) …1個
リチウムイオンバッテリーパック(SD-PBP96HJ) …1個
ヘッドホーン…1個
ワンセグ用外部アンテナ…1本
地デジ用アンテナケーブル…1本
地上デジタル専用miniB-CASカード…1枚
カーアダプター（MEDC01AX）…1個
キャリングケース…1個
取扱説明書…1冊

- 意匠、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。
- この取扱説明書に描かれているイラスト、画面表示などは見やすくするために誇張、省略があり実際とは異なります。
- 本製品は、ご愛用終了時に再資源化の一助としておもなプラスチック部品に材料名表示をしています。

デジタル放送で運用される各種サービスへの本機の対応は、以下のとおりです。

表示画質	標準画質（SD）
ケーブルテレビ方式	パススルー
字幕放送	○
データ放送	×
双方向（データ放送）	×
EPG（電子番組表）	○